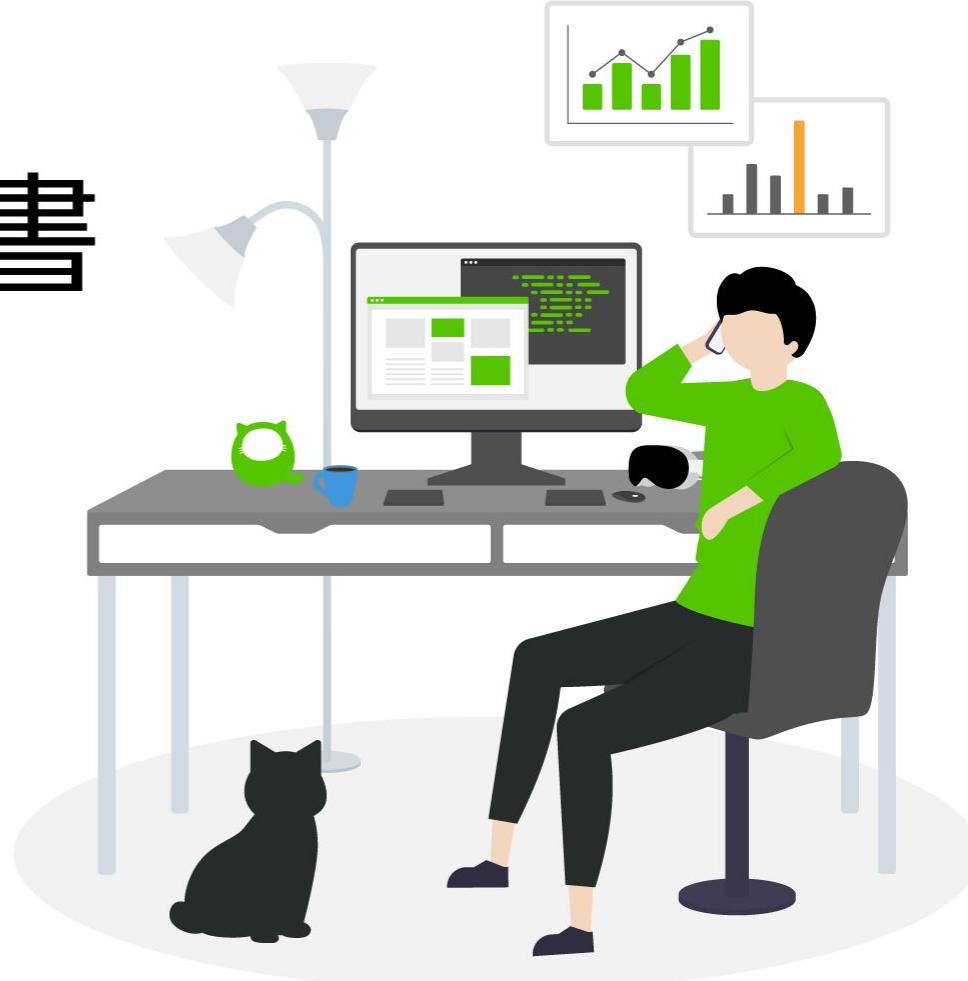


Qiita presents

# エンジニア白書 2024

Engineer White Paper 2024  
国内エンジニアの動向把握



# はじめに

国内エンジニアの動向把握を目的に、Qiitaユーザー約2,000名を対象にアンケート調査を実施しました。

エンジニアに人気の開発言語や普段使用している技術をはじめ、働き方、転職時に重要視する項目など、エンジニアにまつわるトピックスを様々な角度から調査しました。

エンジニア業界の発展のために、幅広くご活用いただけますと幸いです。



# 目次

調査概要 .....	4
サマリー .....	5
エンジニア属性 .....	6
エンジニアに人気の開発言語・ツール .....	16
エンジニアの働き方 .....	29
年収・転職 .....	33
個人・企業の情報発信 .....	51
Qiita利用状況 .....	58
スキルアップのための自主学習 .....	61
お問い合わせ .....	65

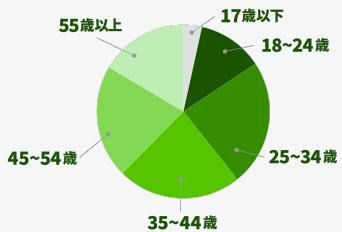
# 調査概要

調査目的	国内エンジニアの動向把握
調査方法	インターネット上でアンケートを実施
調査期間	2024/10/10(木)～2024/11/11(月)
調査項目	最大72問
調査対象	Qiitaユーザー
回答者数	2,017人(うちエンジニア1,745名、エンジニア未経験272名)

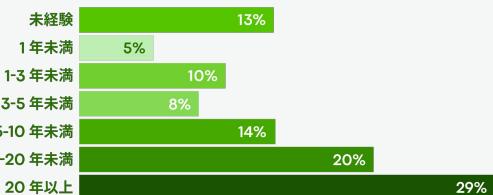
# サマリー

## エンジニア属性

34歳未満のエンジニアが全体の約4割(39%)を占める



エンジニア経験年数は、未経験～ベテランまで幅広く分布



## 言語

「よく使われている言語」「これから習得したい言語」の1位はどちらもPython

### ■よく使う言語

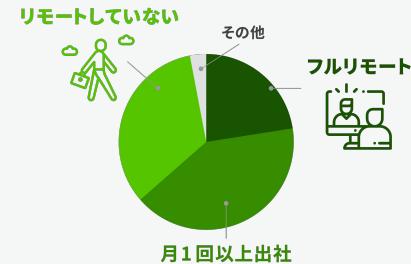
1位 Python

2位 JavaScript

3位 SQL

## 働き方

昨年と比べ、フルリモート、全日出社などの割合に大きな変化は無かった。



## 転職

転職時に重視する項目は、1位「給与」、2位「仕事内容」、3位「リモート勤務の有無」

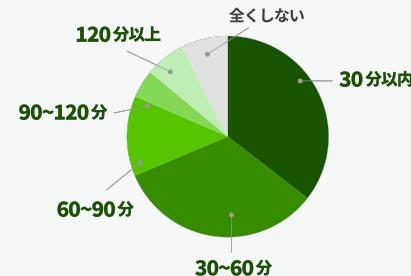
1位 紹介

2位 仕事内容

3位 リモート勤務制度の有無

## スキルアップのための自主的な取り組み

仕事がある日の1日の平均勉強時間は、60分未満が68%を占める



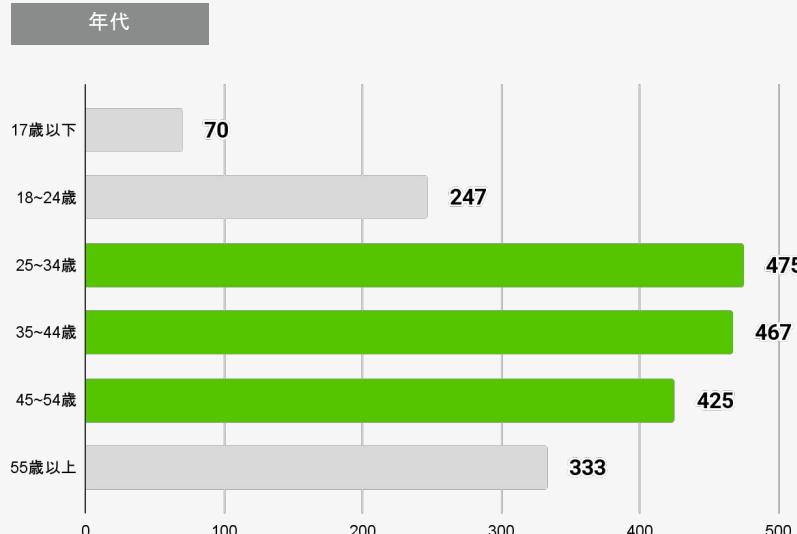
# エンジニア属性



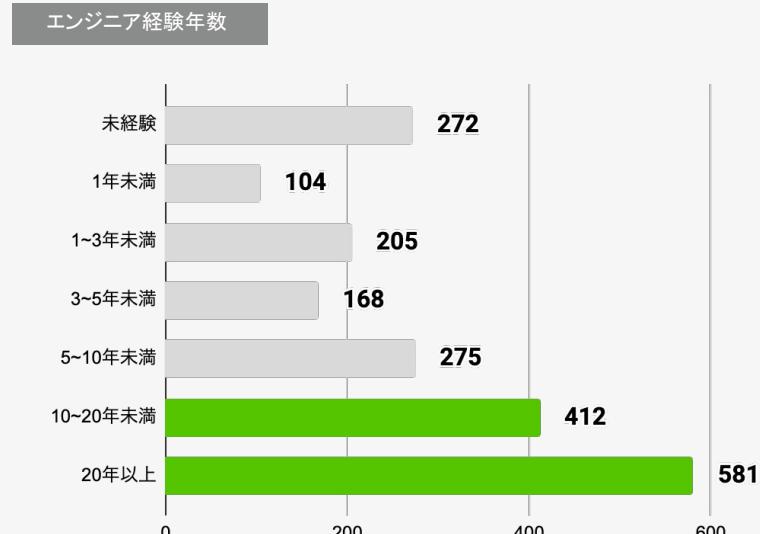
# 年代・エンジニア経験年数

□ 年代では25-34歳が最も多く(475人)、次いで35~44歳(467人)

□ エンジニア経験年数は、未経験～ベテランまで幅広く分布



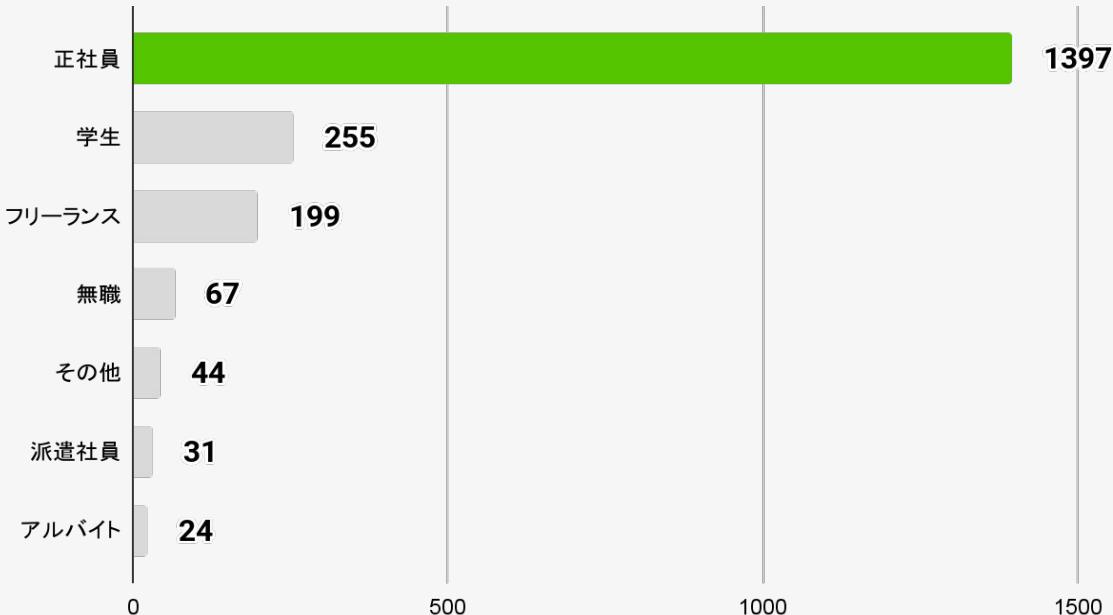
※N=2017



※N=2017

## 就業区分

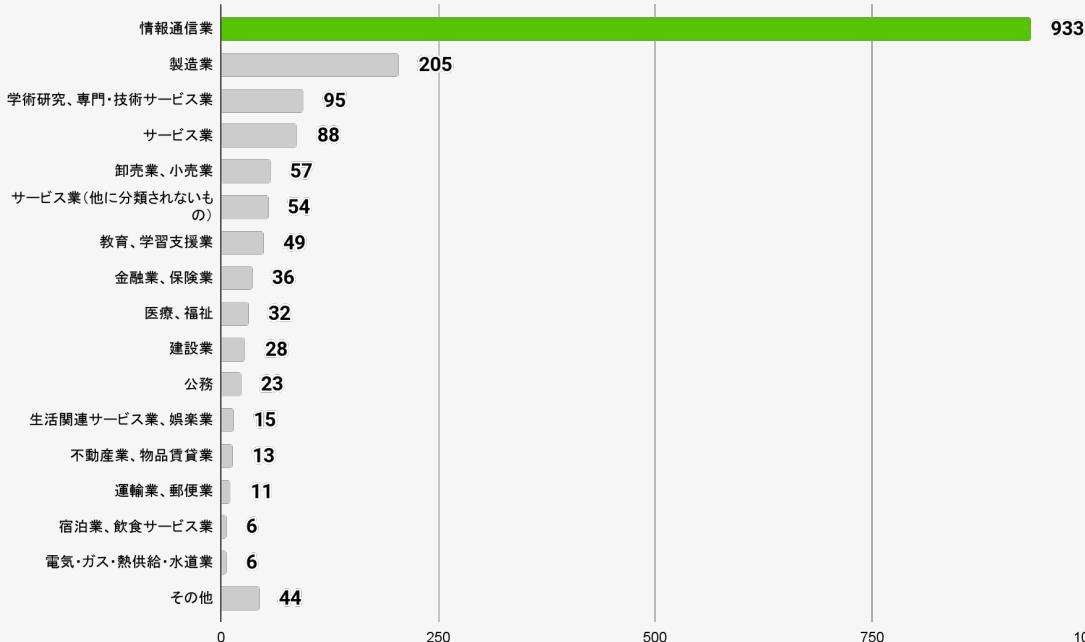
□ 正社員が最も多く(1397人)、次いで学生(255人)、フリーランス(199人)



※N=2017

# 業種

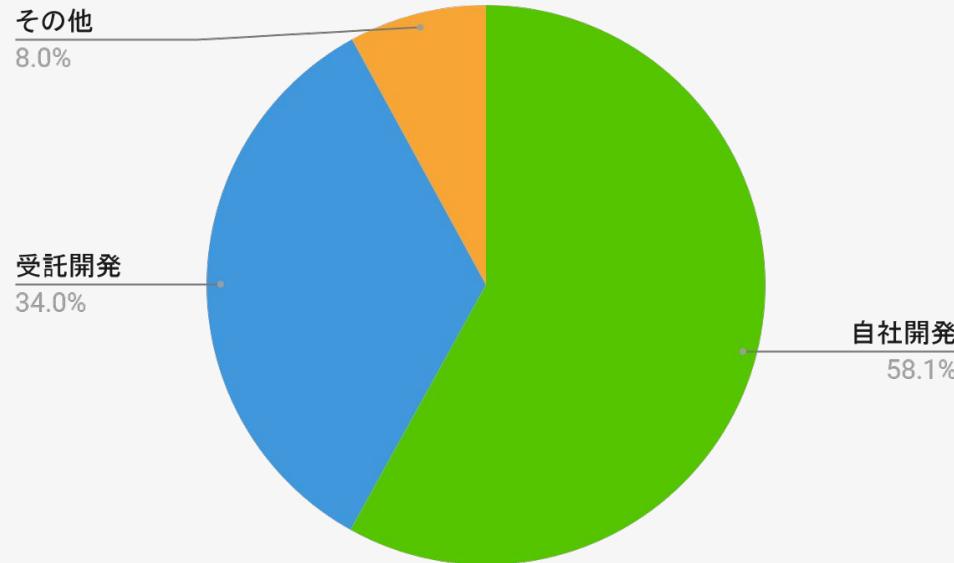
□ 業務:情報通信業が最も多く(933人)、次いで製造業(205人)、学術研究、専門・技術サービス業(95人)



※N=1695。学生・無職を除く

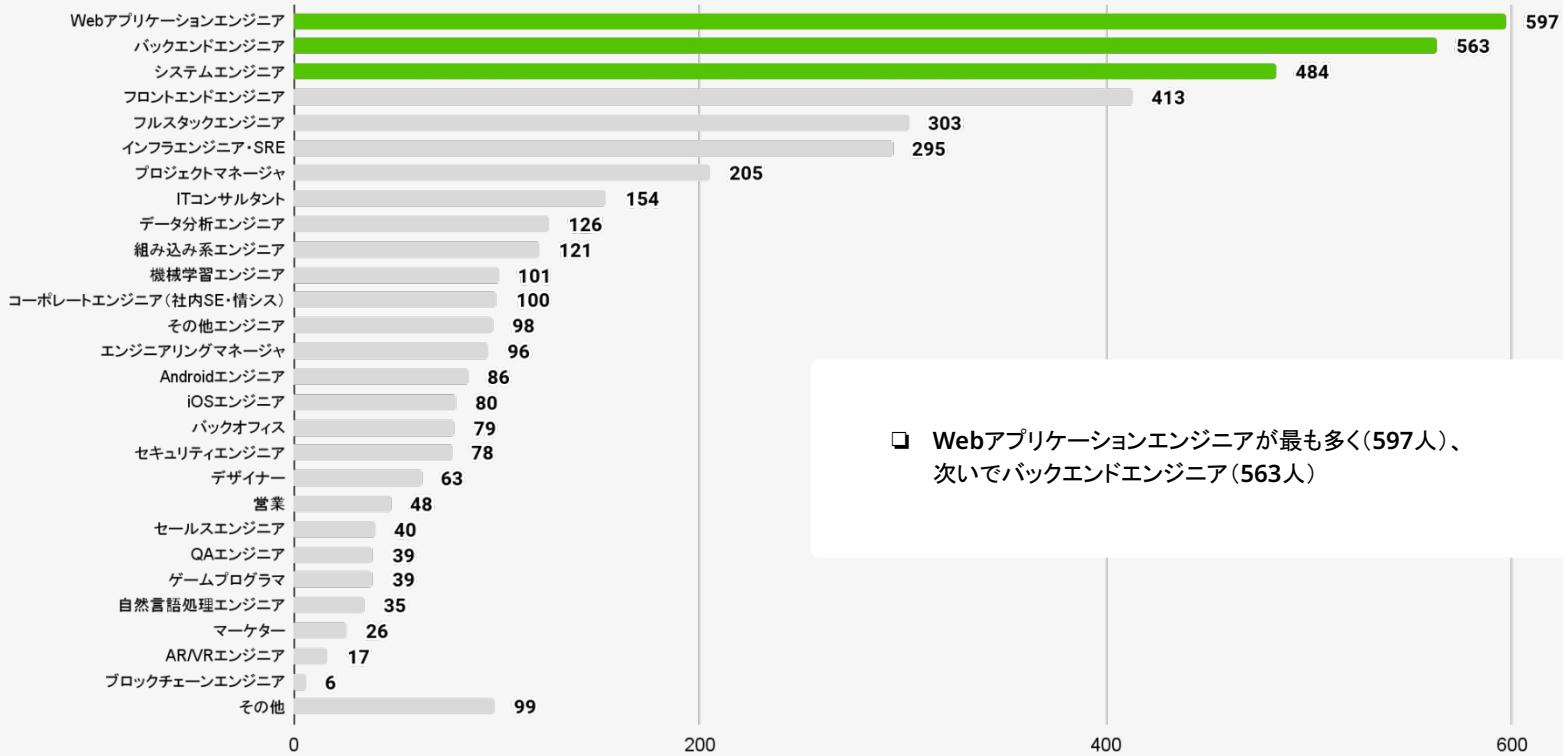
## 開発形態

- 開発形態では自社開発が58%、受託開発が34%



※N=1695。学生・無職を除く

# 職種(全体)

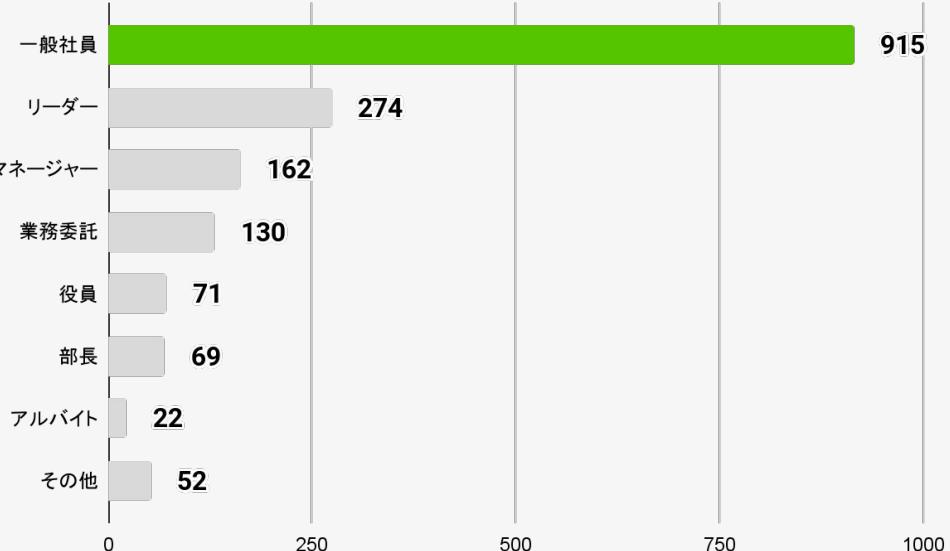


□ Webアプリケーションエンジニアが最も多く(597人)、  
次いでバックエンドエンジニア(563人)

※N=1695。学生・無職を除く

# 役職

- 一般社員が最も多く(915人)、次いでリーダー(274人)
- マネージャー(162人)・役員(71人)・部長(69人)は、3つの役職合わせて全体の18%

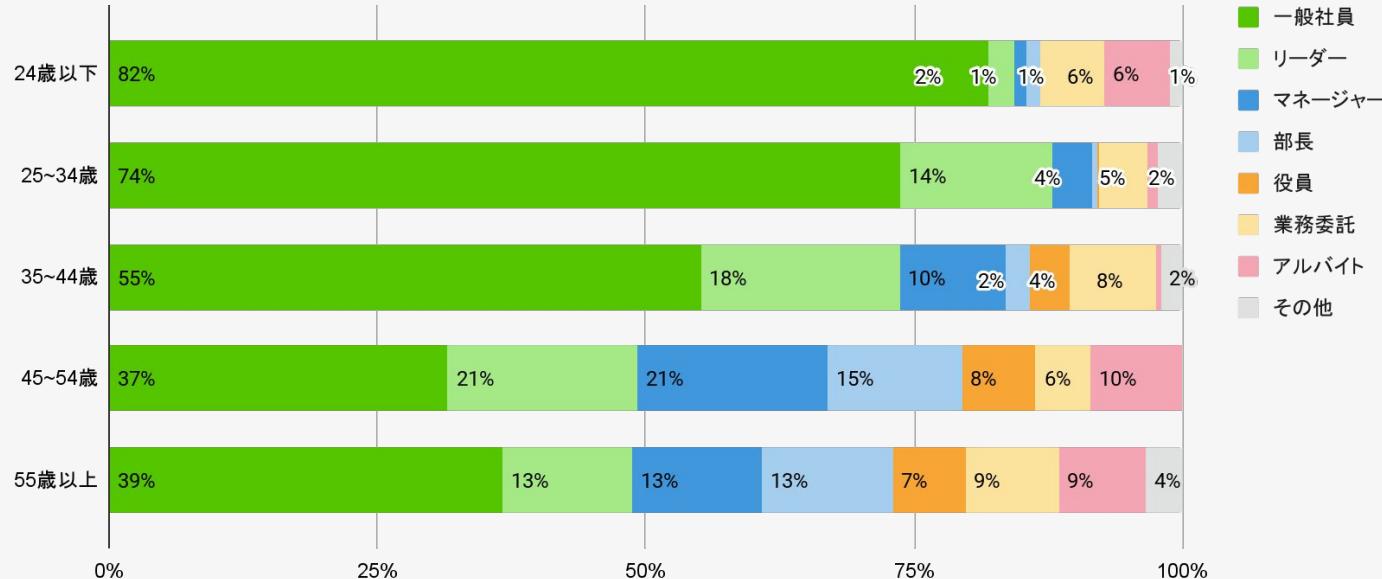


※N=1695。学生・無職を除く



## 役職(年代別)

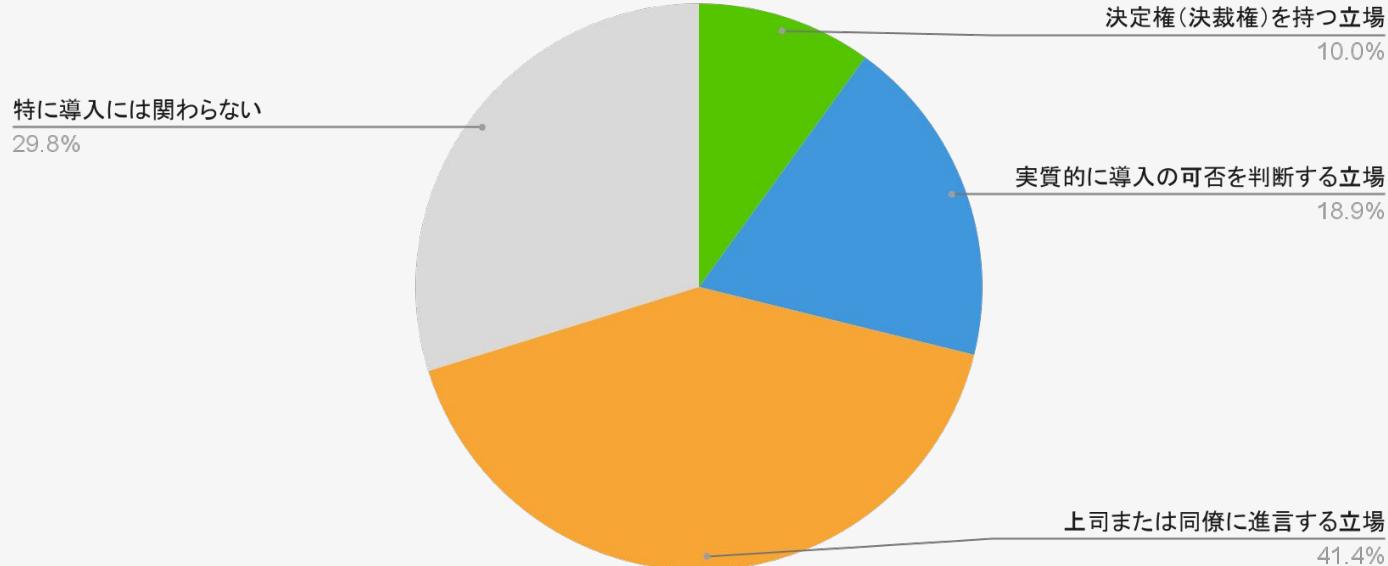
□ 年代別では、25-34歳の18%がリーダー以上の役職に就いている。35-44歳では34%、45歳-54歳では65%と、年齢が上がるにつれて割合が増加。



※N=1695。学生・無職を除く

## ツールやクラウドなどの導入について

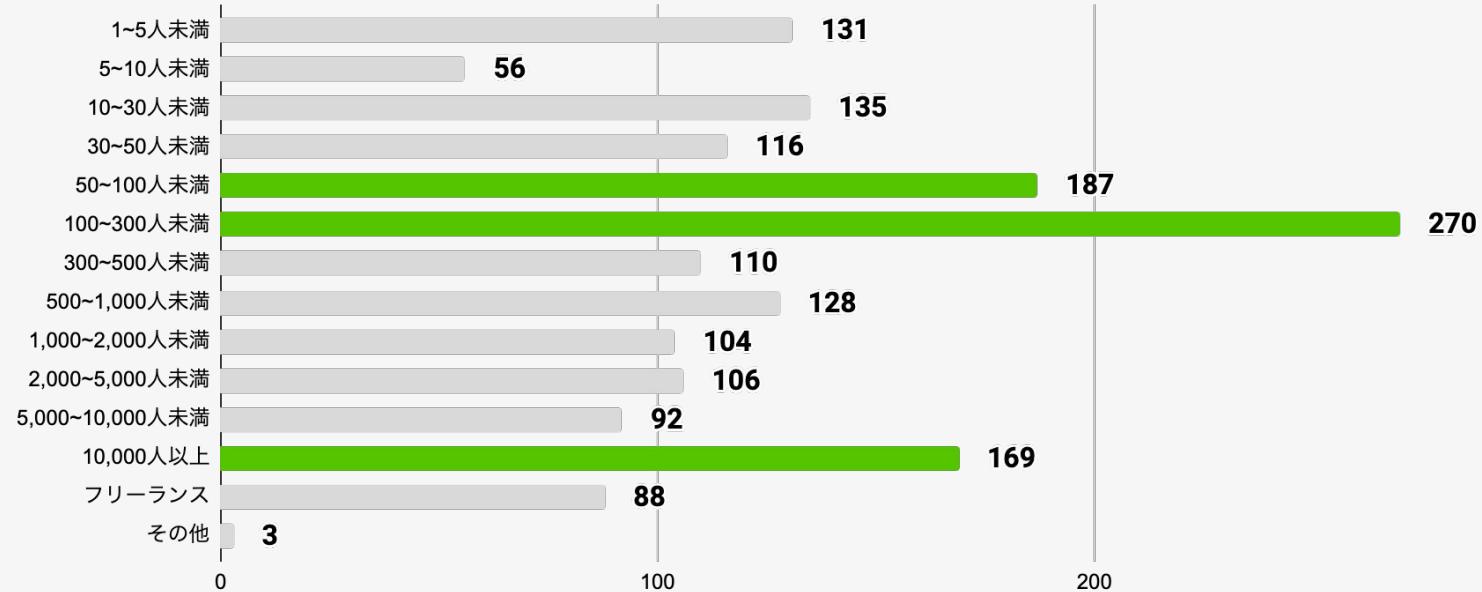
- 導入について進言する立場は41%、導入の判断、権限を持つ立場は合計で29%



※N=1695。学生・無職を除く

# 企業規模

- 最も回答が多かったのは100～300人規模の企業の所属(270人)で16%
- 100人未満が全体の37%、100-1000人未満が30%、1000人以上が28%を占めている。



※N=1695。学生・無職を除く

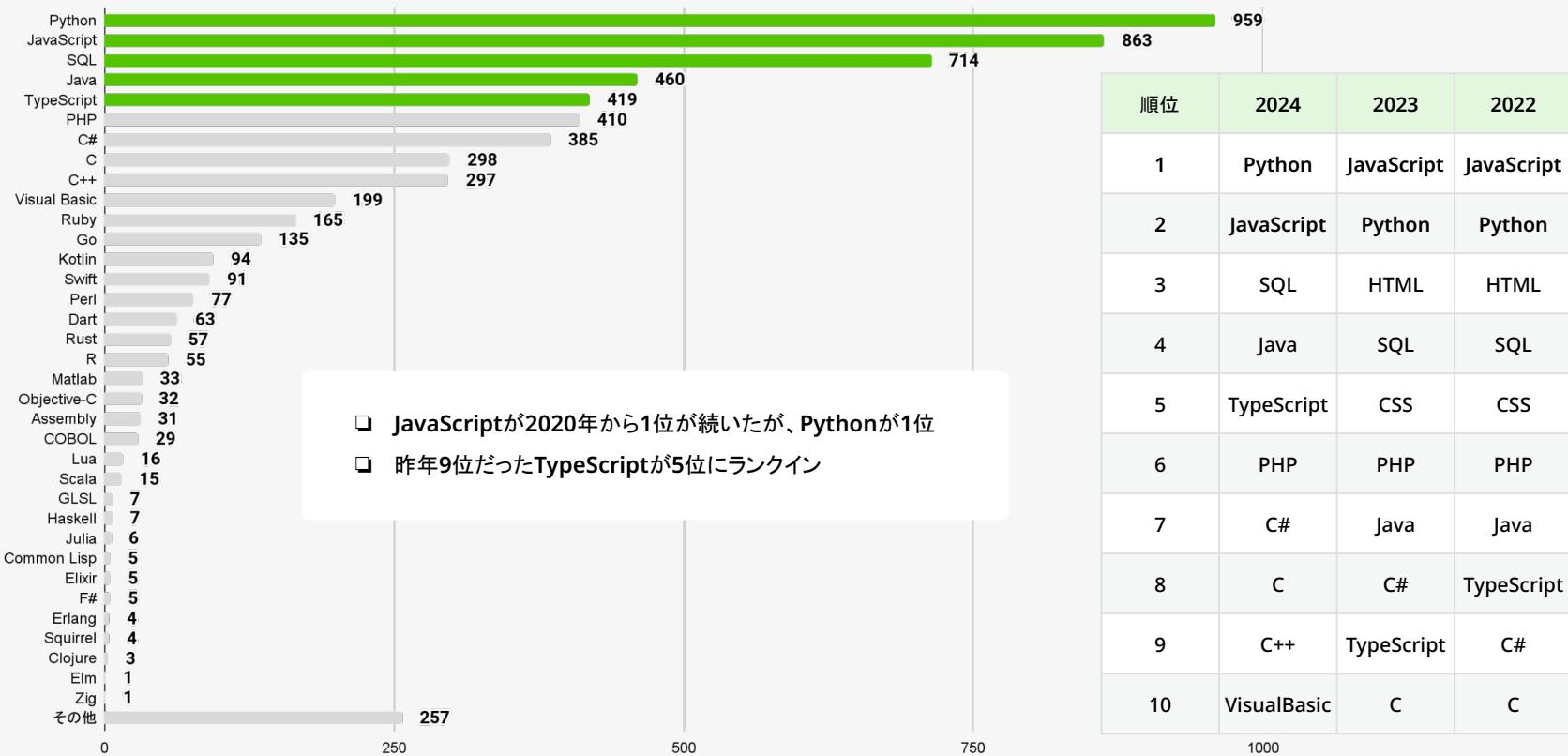
# エンジニアに人気の開発言語・ツール



*php* *GO*

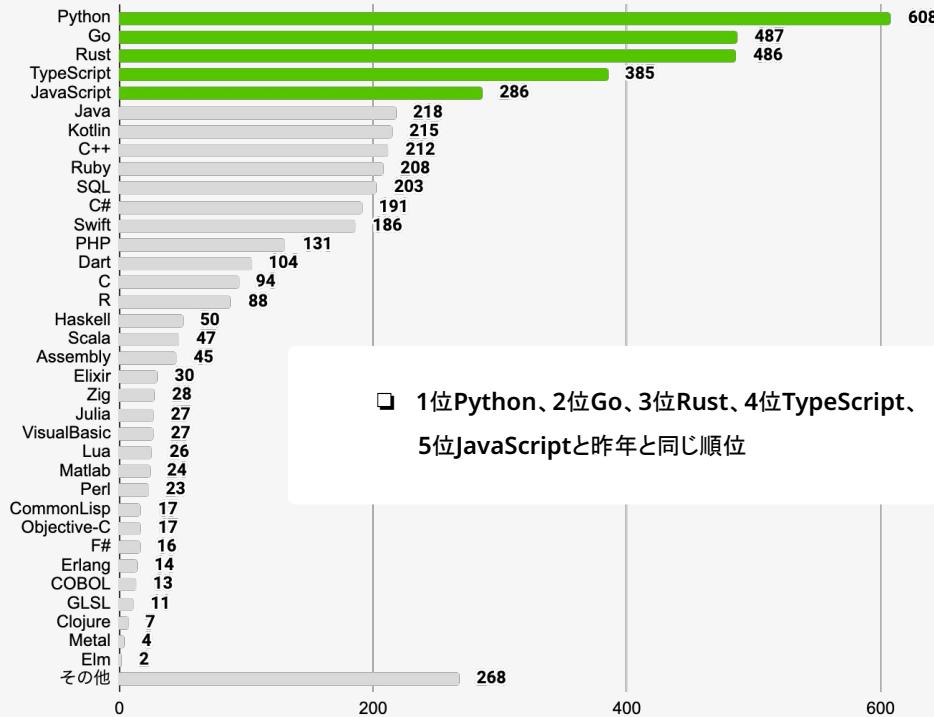


# よく使う言語



- JavaScriptが2020年から1位が続いたが、Pythonが1位
- 昨年9位だったTypeScriptが5位にランクイン

# これから習得したい言語



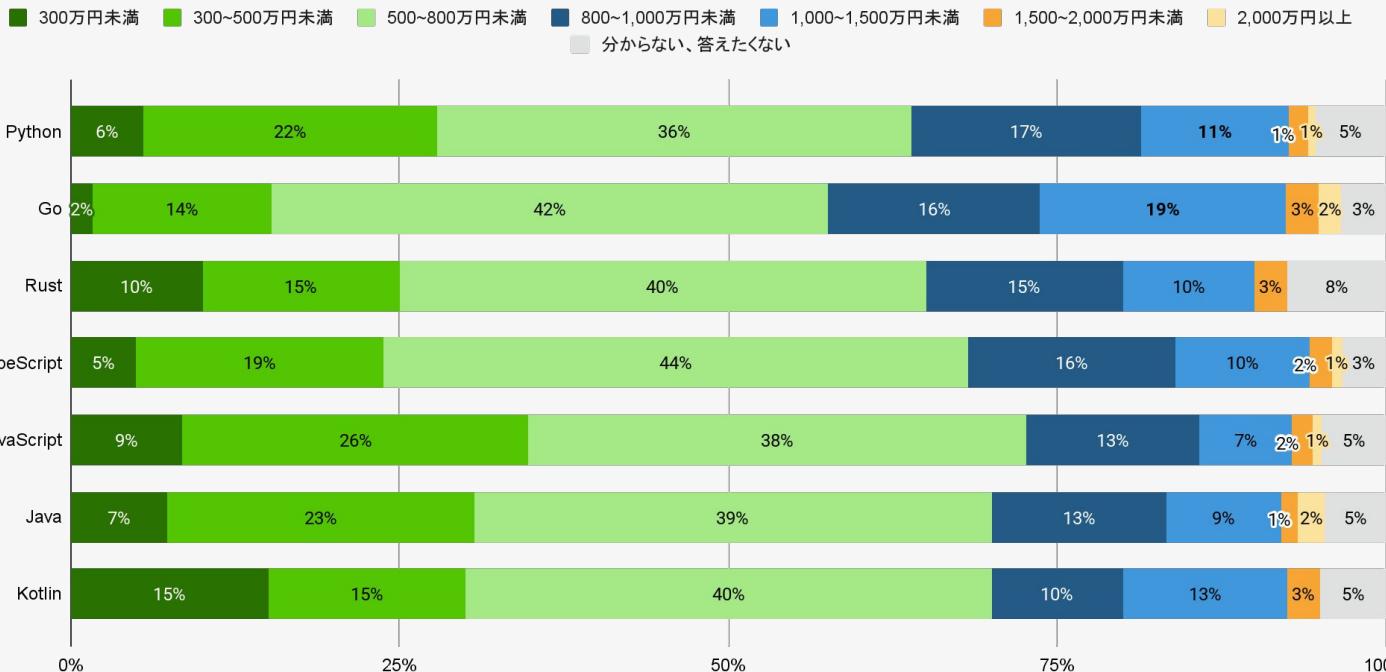
順位	2024	2023	2022
1	Python	Python	Python
2	Go	Go	Go
3	Rust	Rust	Rust
4	TypeScript	TypeScript	TypeScript
5	JavaScript	JavaScript	JavaScript
6	Java	C++	Swift
7	Kotlin	Kotlin	Java
8	C++	Swift	Ruby
9	Ruby	Java	SQL
10	SQL	SQL	Kotlin
11	C#	C#	C#
12	Swift	Ruby	C++
13	PHP	Dart	PHP
14	Dart	PHP	Dart
15	C	HTML	HTML

※N=2017

# これから習得したい言語別の年収

- Goは他の言語と比較して、年収1000～1500万円以上の割合が約10%高い。

これから習得したい言語上位 7つそれぞれの年収

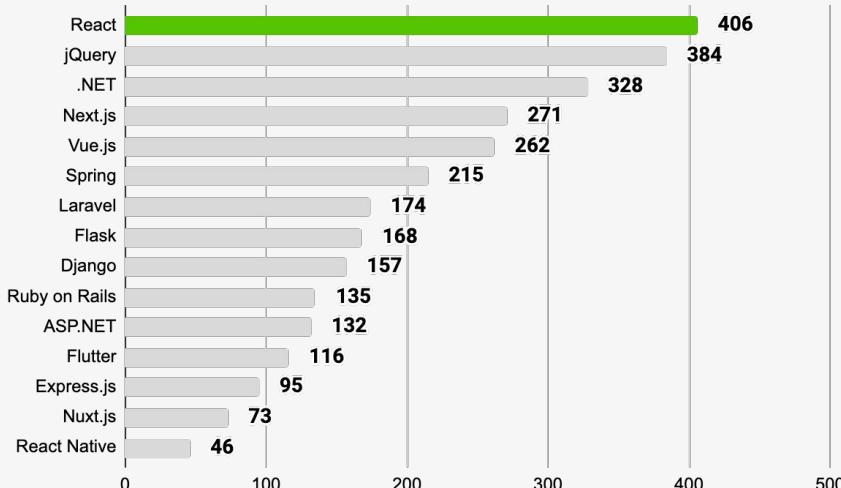


# アプリケーション開発のフレームワーク・ライブラリ

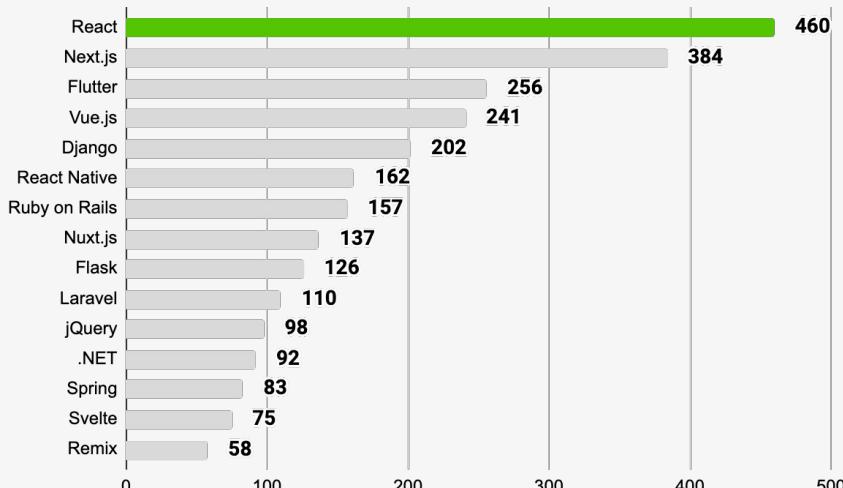
□ 1位はReact、2位はjQuery、3位は.NET

□ 1位はReact、2位はNext.js、3位はFlutter

よく使う



これから取得したい



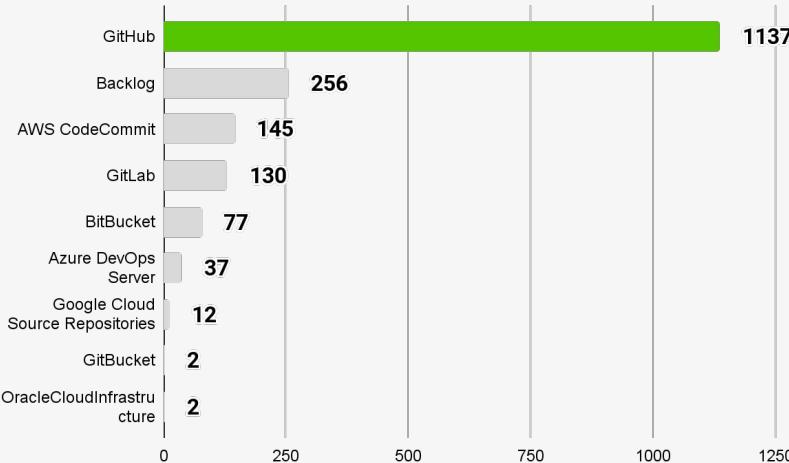
※N=1322。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

※N=1258。特にないと回答した人を除く。複数回答。

# コード管理

- 開発でよく活用しているサービスの1位はGitHub、2位Backlog、3位AWS CodeCommit

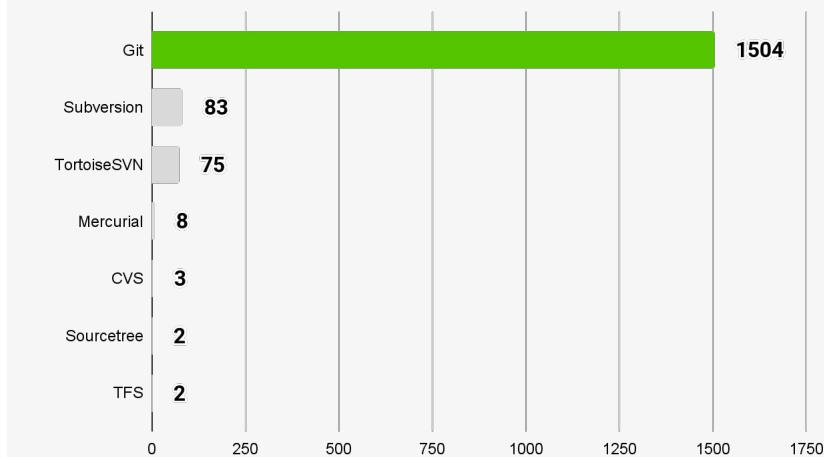
開発でよく活用しているサービス



※N=1652。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

- 開発でよく活用しているツールの1位はGit。全体の94%と、多くのユーザーが利用。

【コード管理】開発でよく活用しているツール



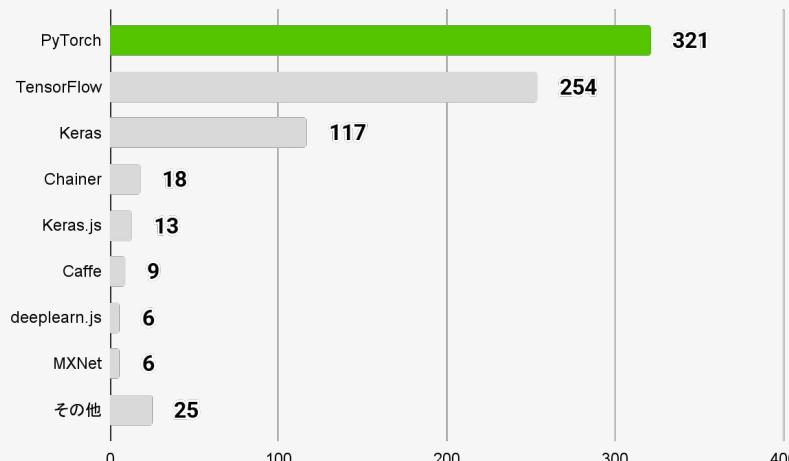
※N=1597。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

# 開発でよく活用している技術・ツール（1）

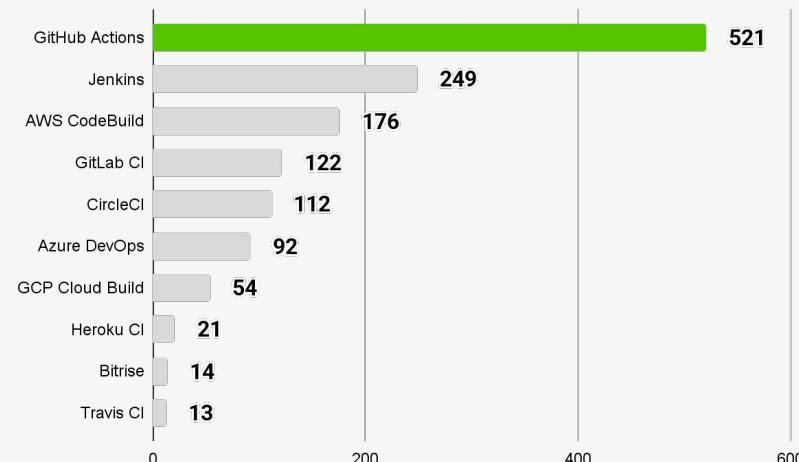
□ 機械学習の1位はPyTorch、2位はTensorFlow、3位はKeras

□ CI/CDの1位はGitHub Actions、2位Jenkins、3位AWS CodeBuild

【機械学習】よく使うフレームワーク・ライブラリ



CI/CD 開発でよく活用している技術・ツール

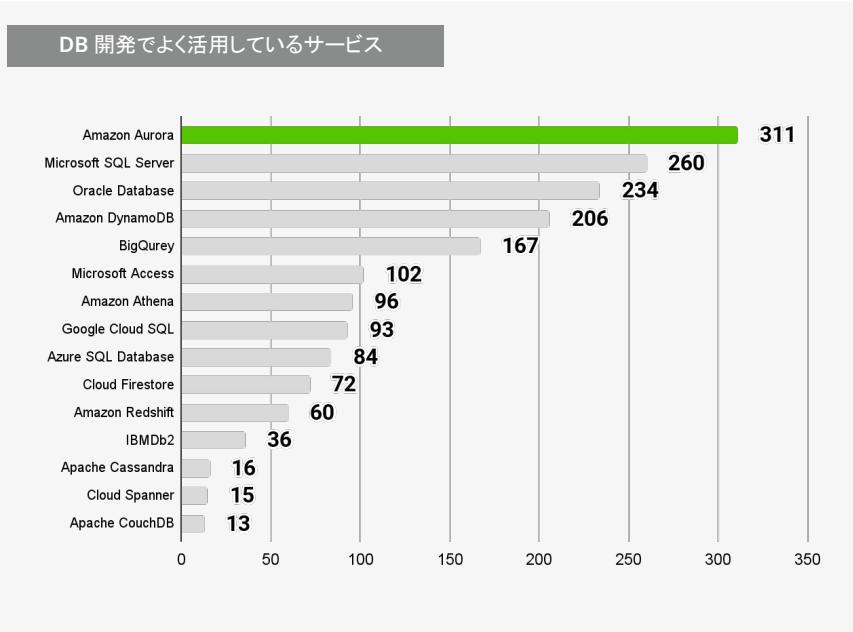


※N=456。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

※N=963。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

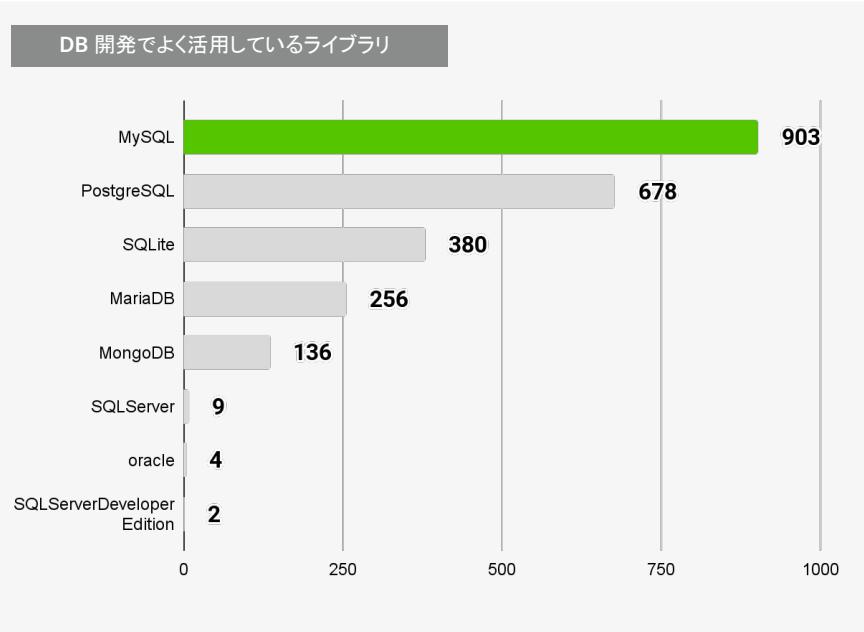
## 開発でよく活用している技術・ツール（2）

- DB 開発で活用しているサービスの1位はAmazon Aurora、2位は Microsoft SQL Server、3位はOracle Database



※N=1029。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

- DB 開発で活用しているライブラリの1位はMySQL、2位はPostgreSQL、3位は SQLite



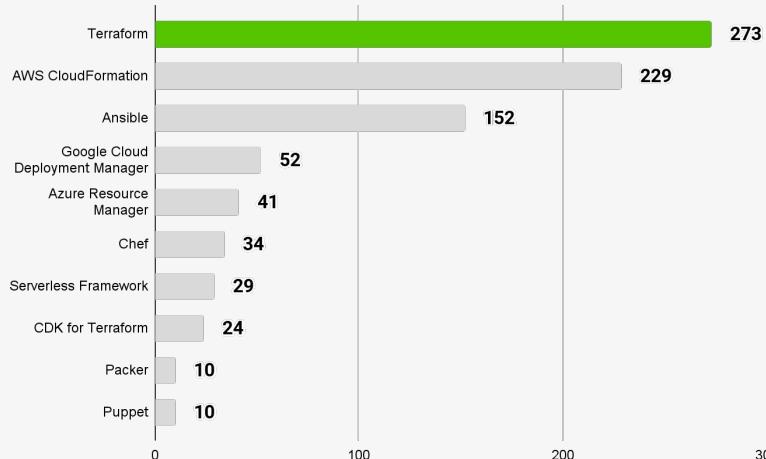
※N=1391。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

## 開発でよく活用している技術・ツール（3）

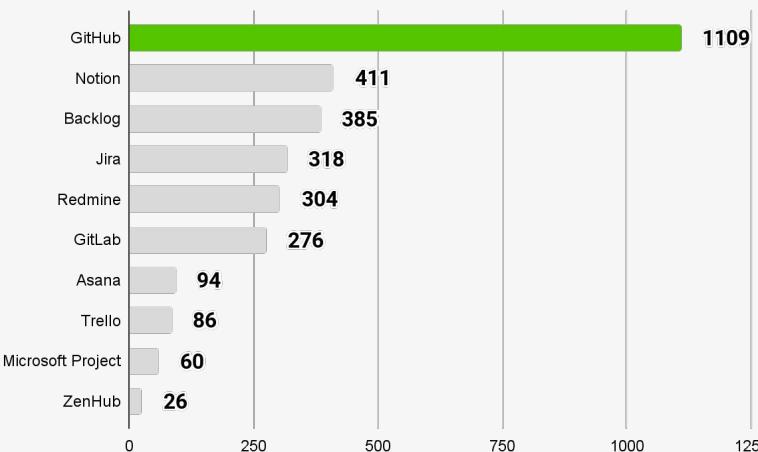
- IaC 開発で活用している技術・ツールの1位はTerraform、2位はAWS CloudFormation、3位はAnsible

- プロジェクト開発で活用している技術・ツールの1位はGitHub、2位はNotion、3位はBacklog

IaC 開発でよく活用している技術・ツール



プロジェクト管理で活用している技術・ツール



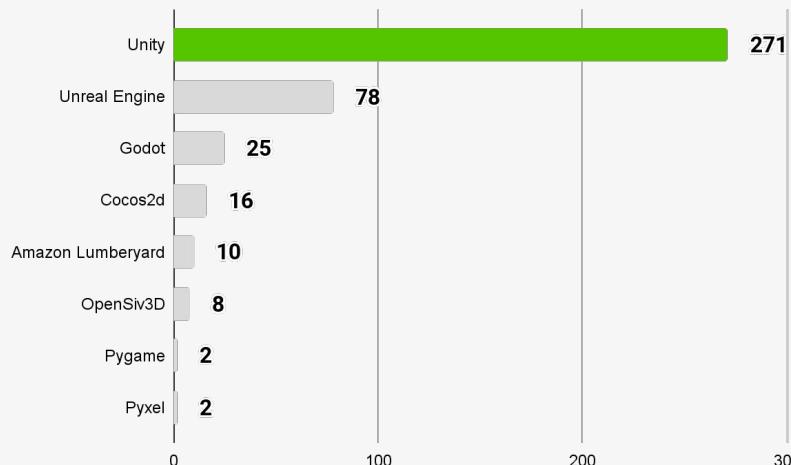
※N=608。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

※N=1579。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

## 開発でよく活用している技術・ツール（4）

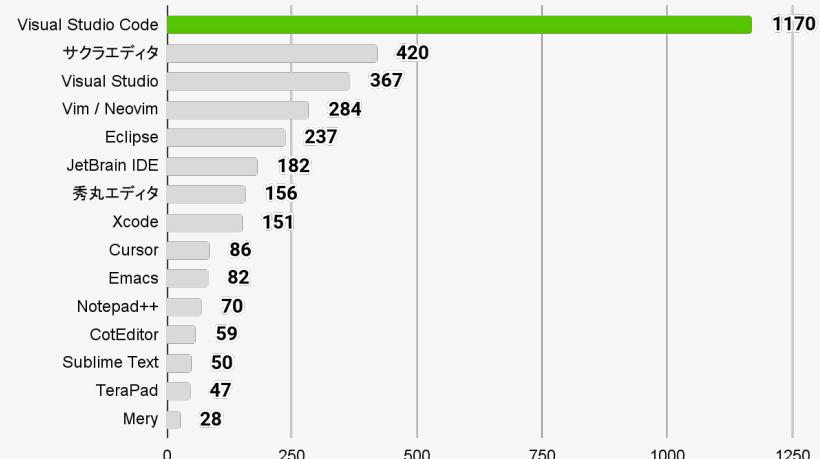
- ゲームエンジン開発で活用している技術・ツールの1位はUnity、2位はUnreal Engine、3位はGodot

ゲームエンジン開発で活用している技術・ツール



- 開発で使用しているエディタの1位はVisual Studio Code、2位はサクラエディタ、3位はVisual Studio

開発で使用しているエディタ

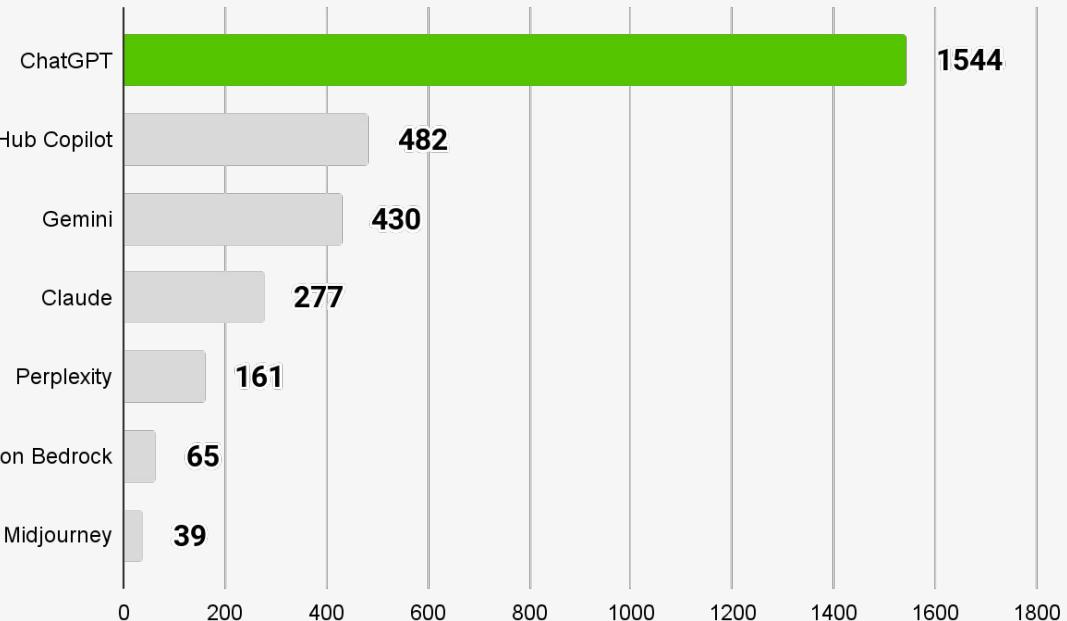


※N=322。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

※N=1912。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

# 生成AIツール

- よく活用している生成AIツール1位はChatGPT、2位はGitHub Copilot、3位はGemini



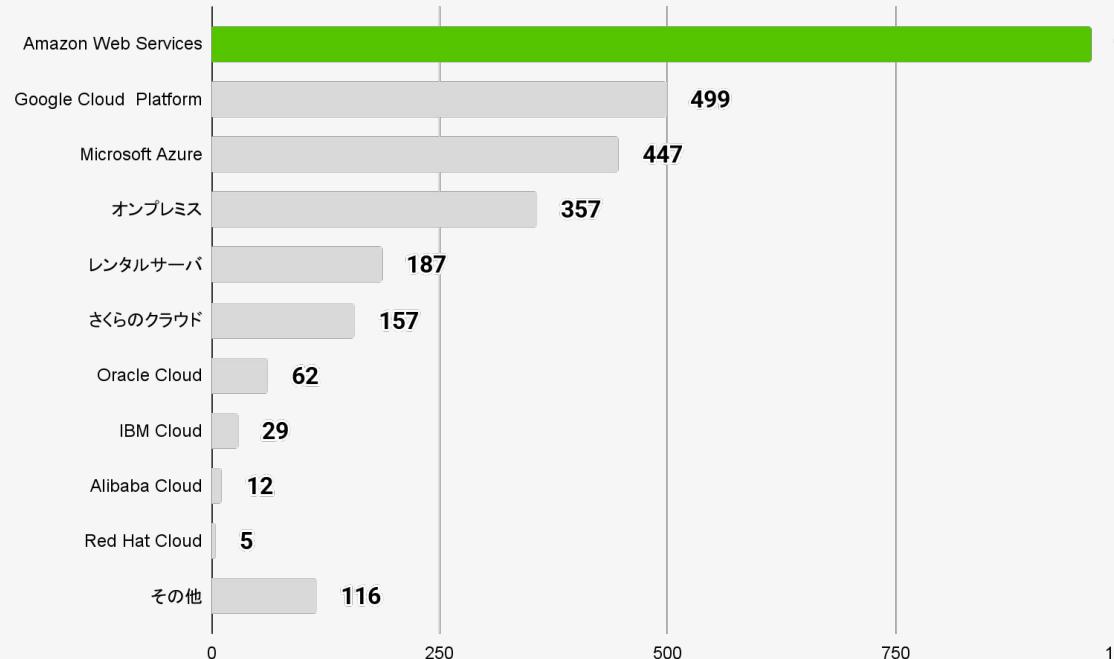
## 業務での生成AIの活用方法(自由記述)

コード出力関連
・コーディング
・ソースコード生成
・テストコードの作成
サポート業務
・アイデア出し、整理、壁打ち
・エラーの解決
コミュニケーション支援
・翻訳
・文章作成

※N=1951。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

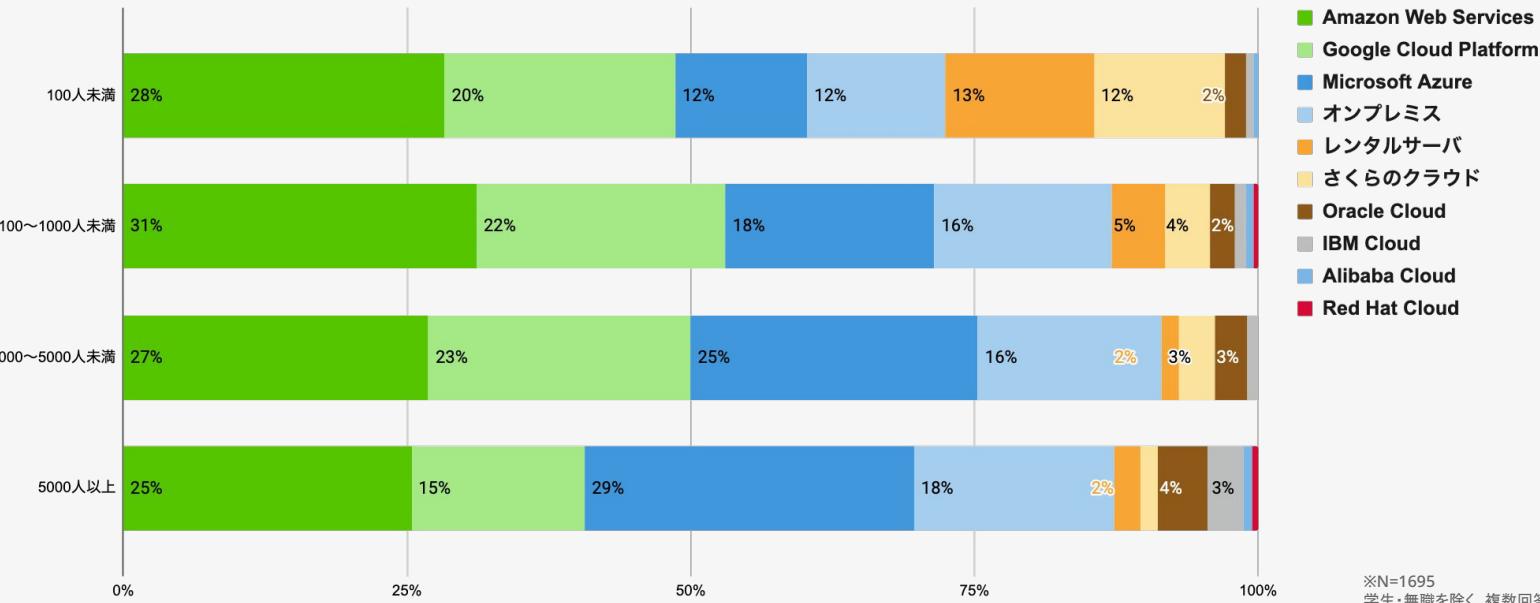
## 勤務先で導入しているサーバ(全体)

- 勤務先で導入しているパブリッククラウド、サーバーホスティングサービスは、1位がAmazon Web Services で57%、2位にGoogle Cloud Platform で29%、3位はMicrosoft Azure で26%



## 勤務先で導入しているサーバ(企業規模別)

- 1,000人未満の企業では、AWSの導入率が高い。
- 1,000人を超える企業では、AWS、Microsoft Azure、オンプレミスと回答が分散。



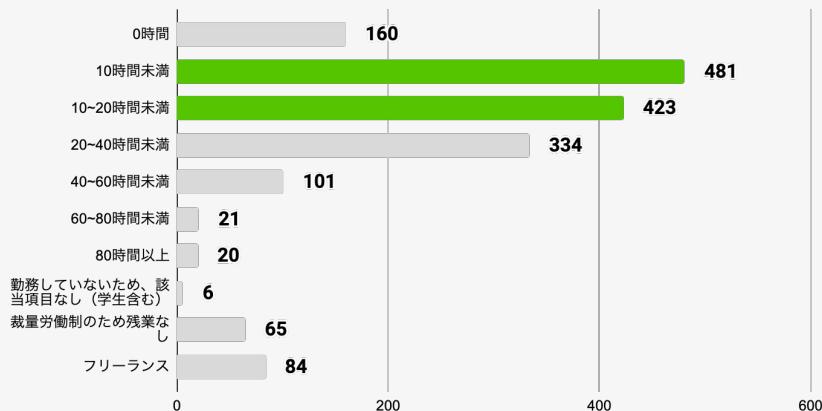
# エンジニアの働き方



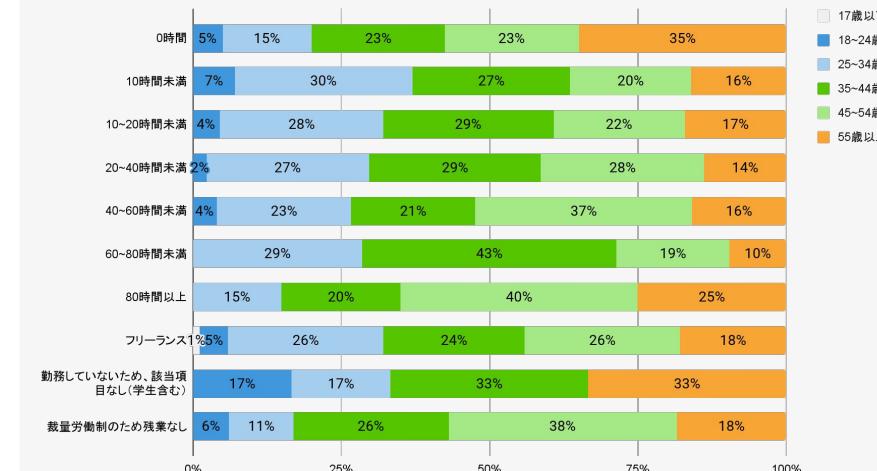
# 1ヶ月の平均残業時間

- 10時間未満が最も多く28%を占める、残業0時間は9%
- 年代別では、24歳以下で60時間以上の残業をしている人は0%。80時間以上の残業をしている人の85%は35歳以上。

全体



年代別



※N=1695。学生・無職を除く。

※N=1695。学生・無職を除く。

# 出社頻度(全体)

- 2022年から2023年で「フルリモート」の割合が10ポイント減少(33%→23%)したが、2023年から2024年にかけて「フルリモート」の割合に変化はない。

全体

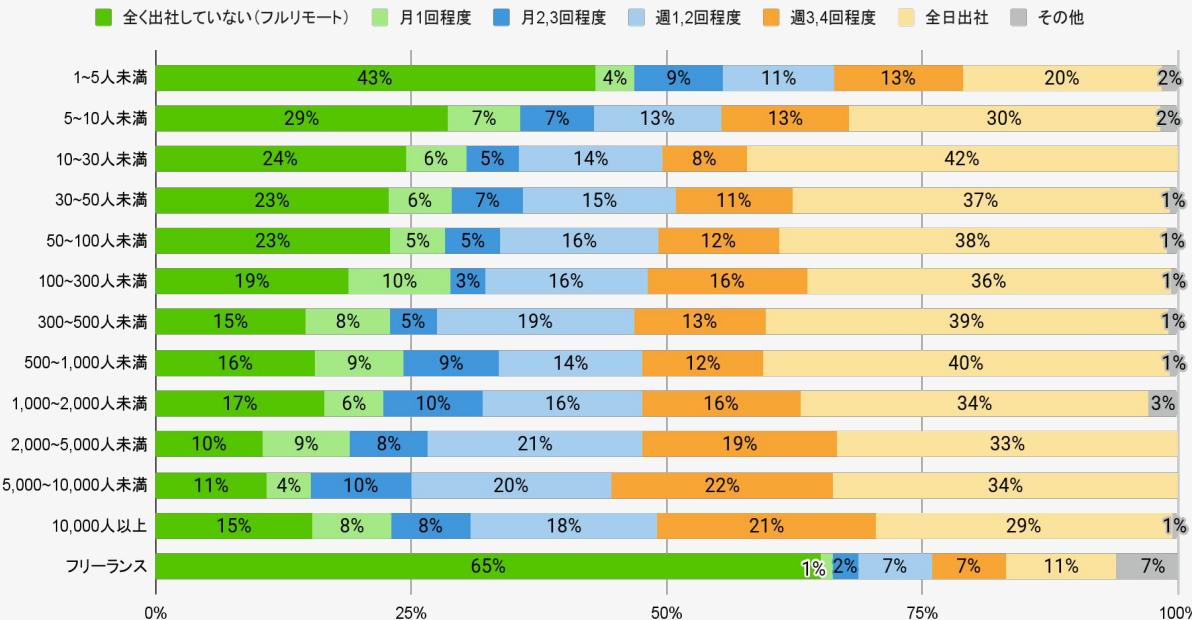
■ 全く出社していない(フルリモート) ■ 月1回程度 ■ 月2,3回程度 ■ 週1,2回程度 ■ 週3,4回程度 ■ 全日出社  
■ その他



※N=1680。学生・無職を除く。勤務していないため、該当項目なしと回答した人を除く。

# 出社頻度(企業規模)

- 100人未満は20%以上がフルリモート。
- 企業規模が小さくなるにつれて、フルリモートの割合が増加する傾向



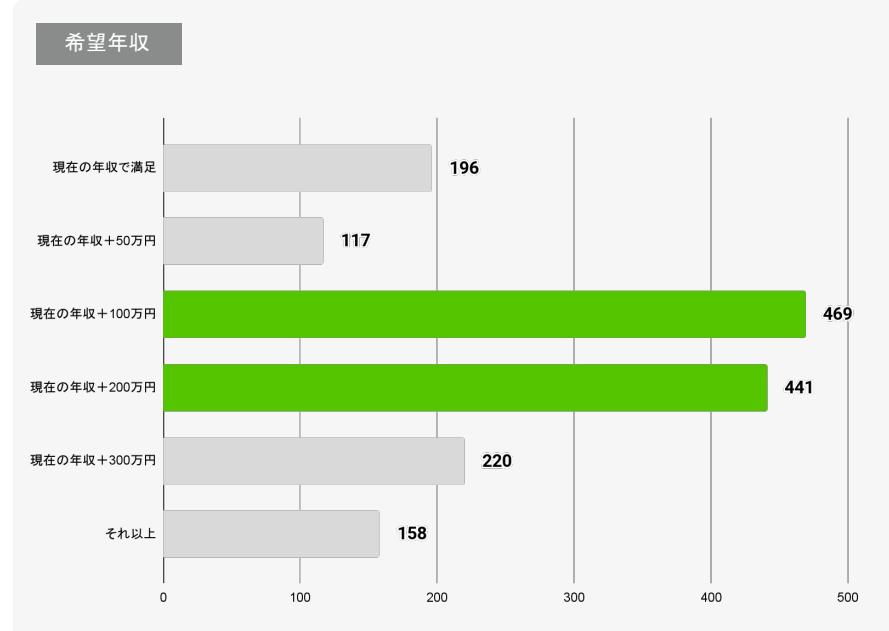
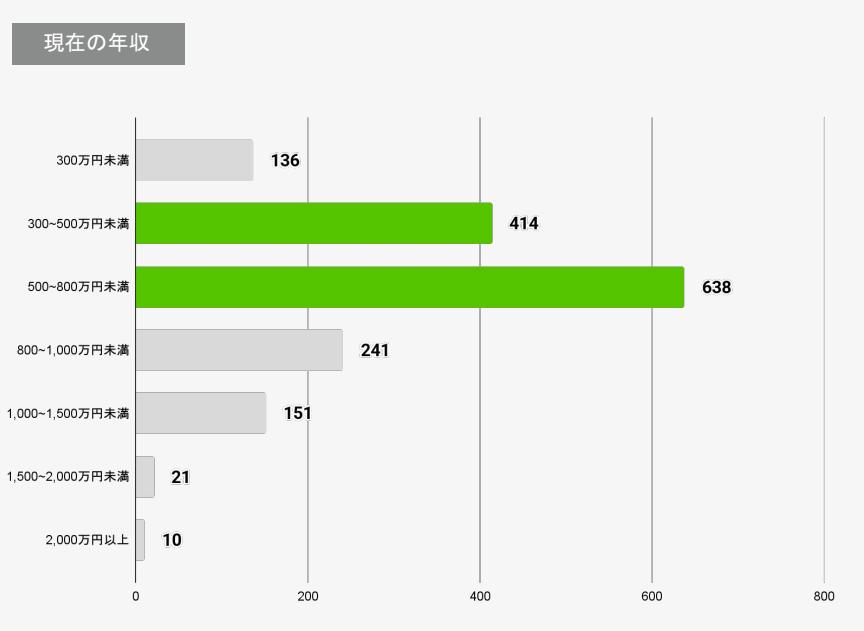
※N=1680。学生・無職を除く。勤務していないため、該当項目なしと回答した人を除く。

# 年収・転職



# 現在の年収・希望年収

- 年収アップを希望している人では、+100万円希望が最も多く469人(29%)、次いで+200万円希望が441人(28%)、現在の年収で満足している人は196人(12%)

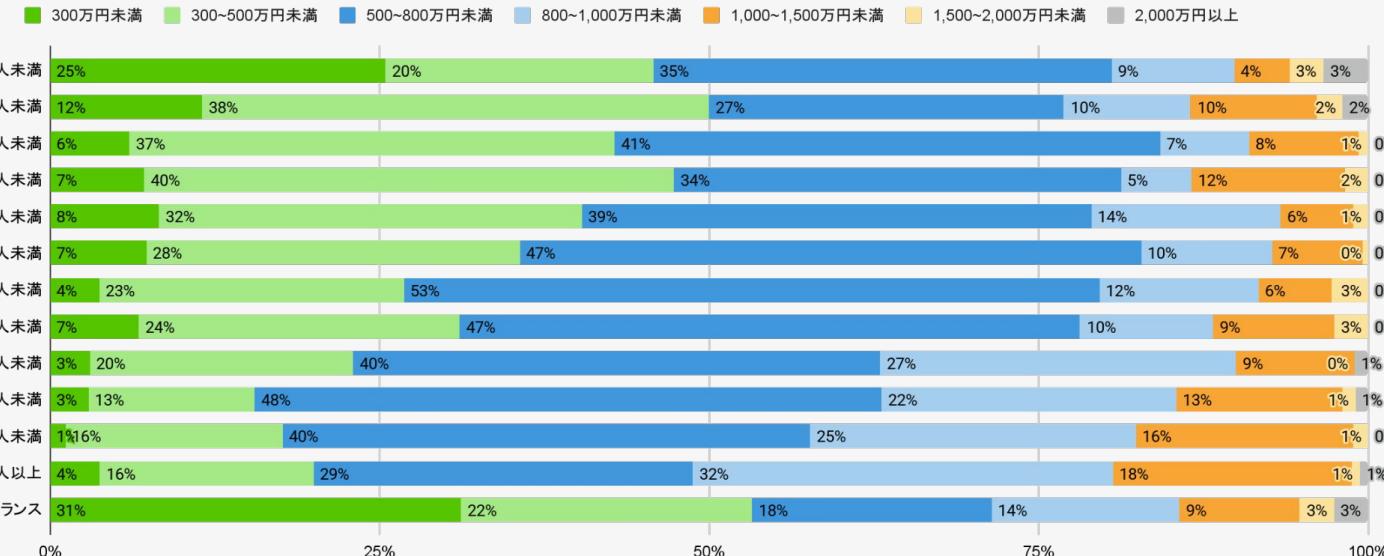


※N=1611。学生・無職を除く。  
分からない、答えたくないと回答した  
人を除く。

※N=1601。学生・無職を除く。  
分からない、答えたくないと回答した  
人を除く。

# 現在の年収(企業規模別)

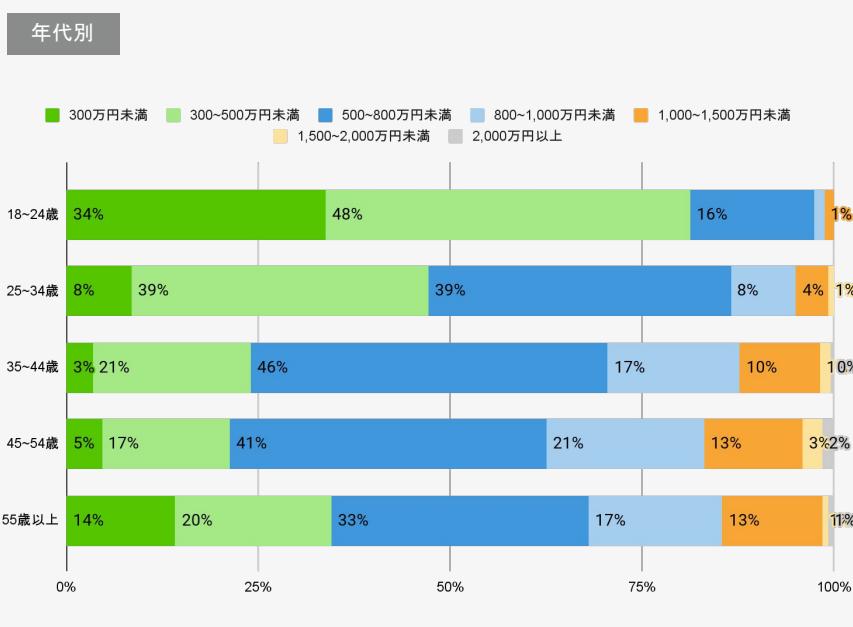
- 1,000人以上の企業では、年収800万円以上の割合が37%以上



※N=1609。学生・無職を除く。  
分からない、答えたくないと回答し  
た人を除く。

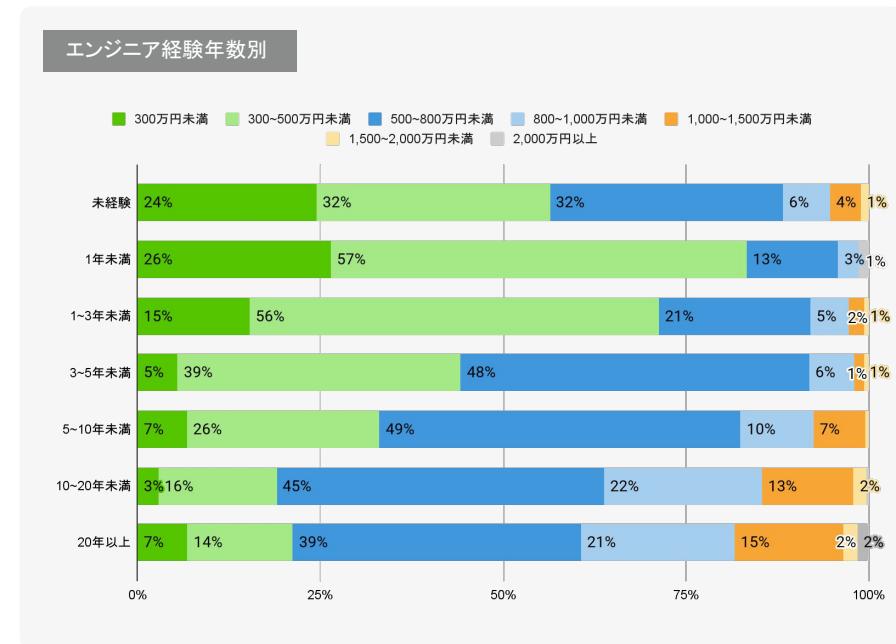
# 現在の年収(年代・エンジニア経験年数別)

- 25-34歳では500万円以上の割合が50%以上、35歳以上では800万円以上の割合が25%以上



※N=1610。学生・無職を除く。  
分からない、答えたくないと回答した  
人を除く。

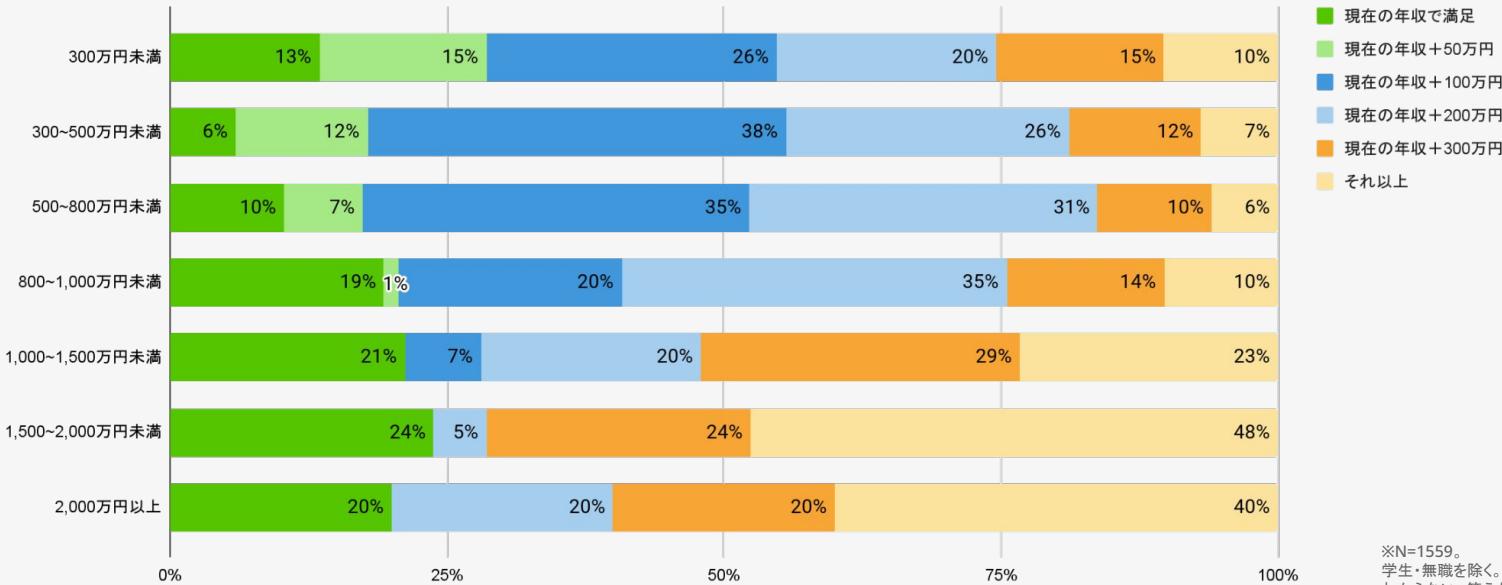
- エンジニア経験年数が3年以上の場合、50%以上が500万円以上



※N=1611。学生・無職を除く。  
分からない、答えたくないと回答した  
人を除く。

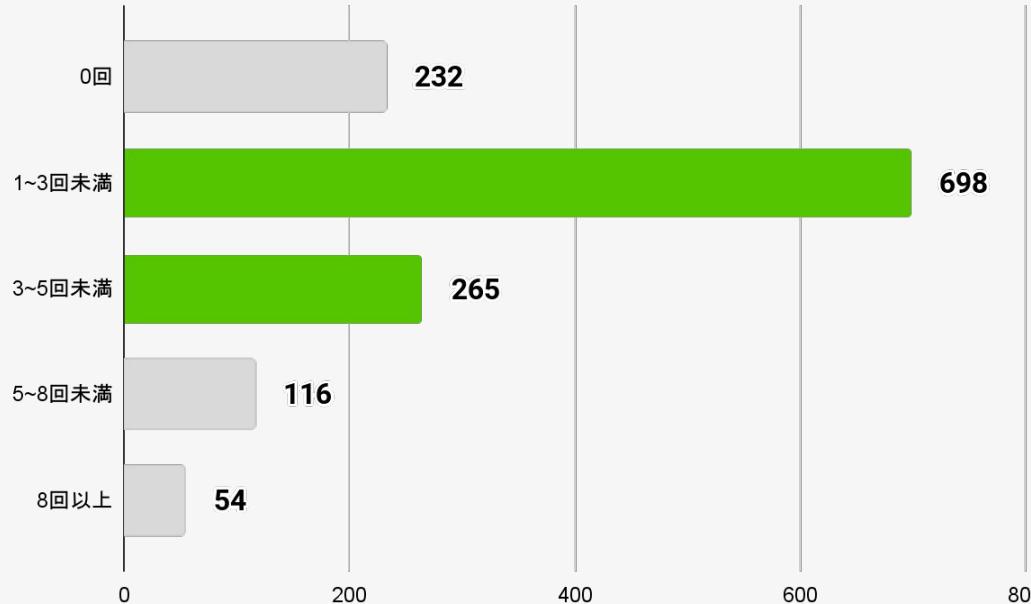
## 希望年収(現在の年収別)

- 300-800万円未満では、35-38%が現在の収入+100万円、26-31%が現在の年収+200万円を希望している
- 1,000万円以上では、現在の年収に満足している割合と、現在の年収+300万円以上を希望する割合が大きくなる傾向



## 転職回数

□ 転職回数が1~3回未満が最も多く698人(51%)、次いで3~5回未満が265人(19%)

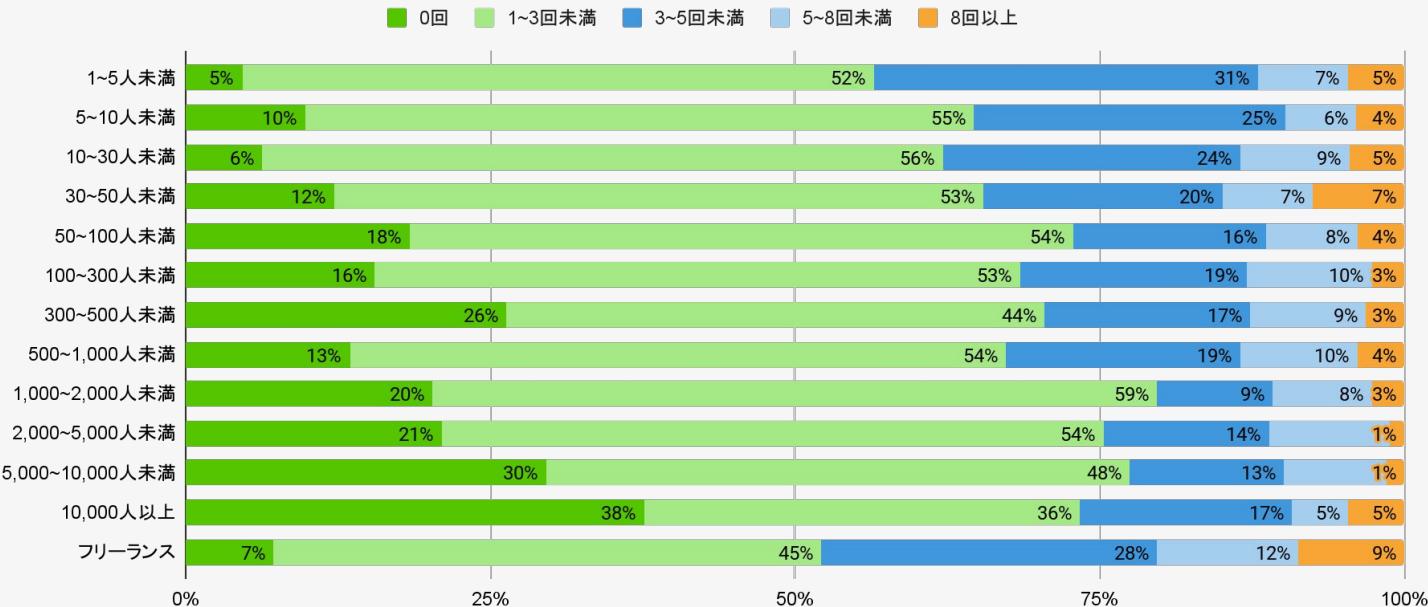


※N=1365。学生・無職を除く。「現在までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」で「はい」と回答した人のみ。

# 転職回数(年代・エンジニア経験年数別)

- 企業規模が300人未満では、転職回数1-3回の割合が50%以上
- 企業規模が1,000人以上では、転職回数0回の割合が20%以上
- 企業規模にかかわらず、転職回数5回以上は約10%

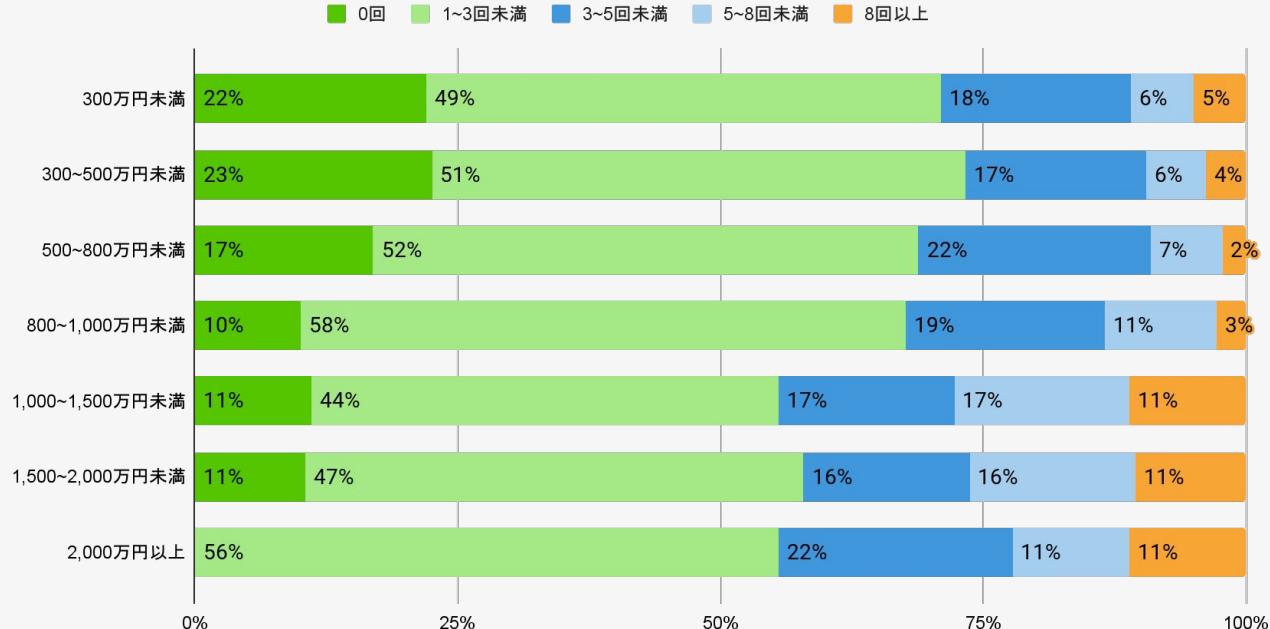
※N=1363。学生・無職を除く。「今までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」で「はい」と回答したのみ。



## 転職回数(年収別)

- 年収が高くなるにつれて、転職回数0回の割合が減る傾向
- 年収に関わらず、転職回数1-3回の割合は44%以上
- 年収1,000万円以上では、転職回数5回以上の割合が20%以上

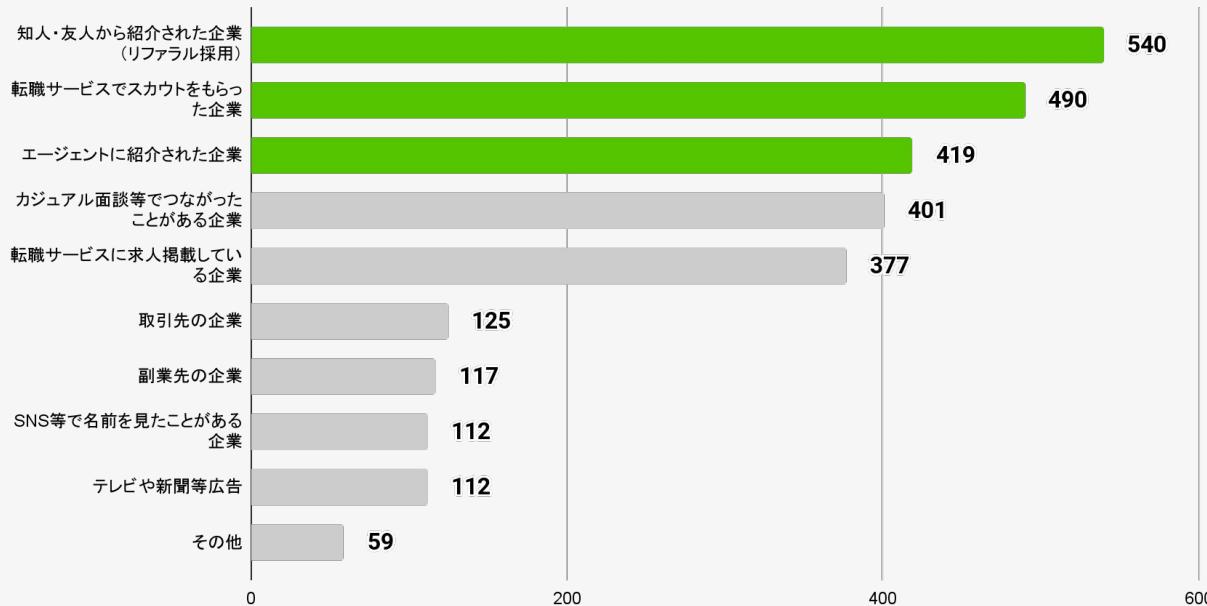
※N=1300。学生・無職を除く。「現在までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」で「はい」と回答したのみ。



# 転職活動をする際、応募を検討する企業がどのような企業か

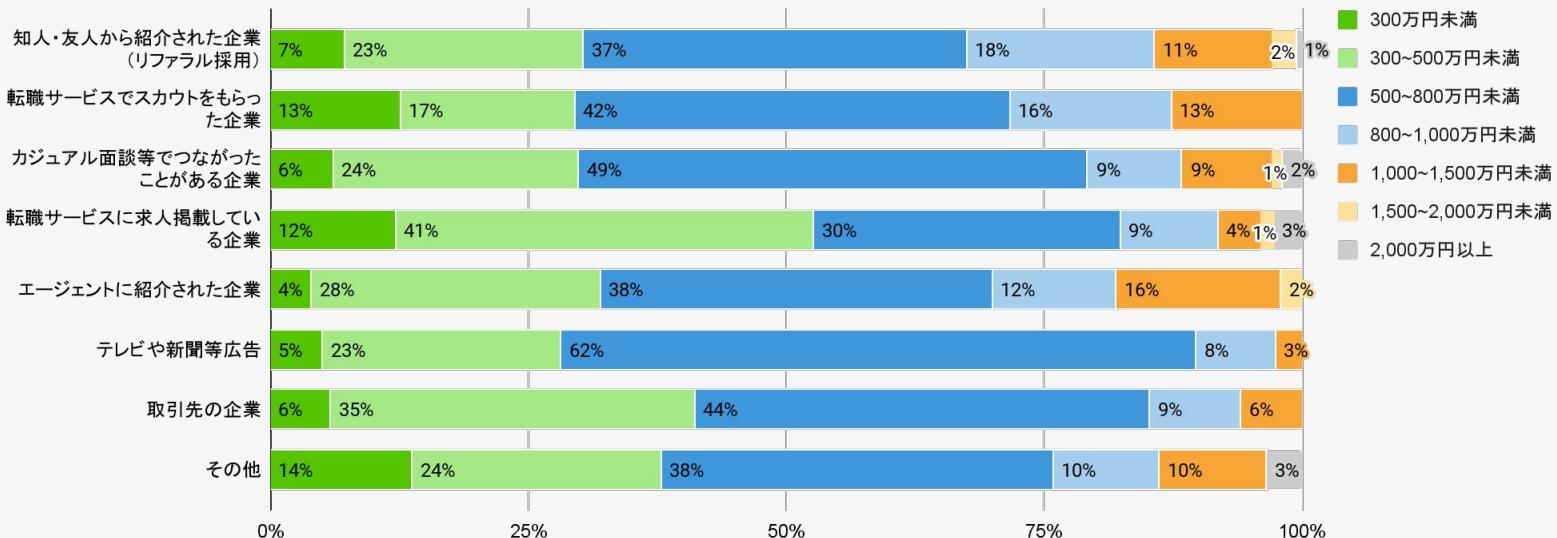
- 「知人・友人から紹介された企業」が最も多く540人(48%)
- 次いで「スカウトをもらった企業」が490人(43%)、「エージェントに紹介された企業」が419人(37%)

\*N=1133。学生・無職を除く。「今までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」で「はい」と回答した人のみ。



# 転職活動をする際、応募を検討する企業がどのような企業か(年収別)

- 年収300-500万円未満では「転職サービスに求人掲載している企業」をきっかけに応募を検討する割合が多い

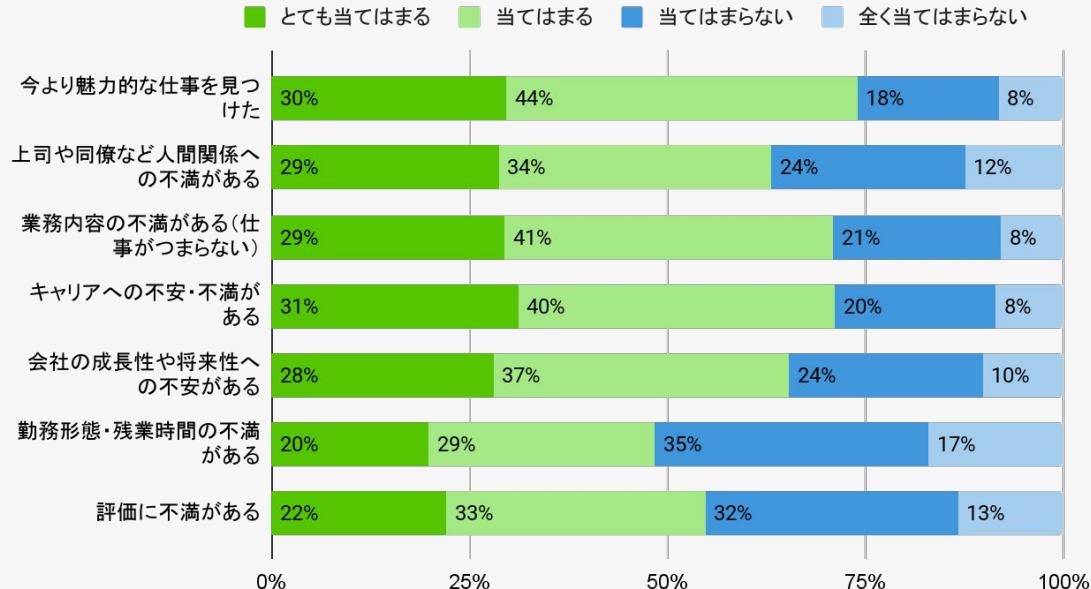


※N=1104。学生・無職を除く。「現在までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」で「はい」と回答した人のみ。

# 転職活動をした / しようとした時の状況（1）

- 「今より魅力的な仕事を見つけた」とポジティブな理由で転職を検討した割合が74%
- 「業務内容の不満がある」と回答した割合は70%、「キャリアへの不安・不満がある」は71%
- 「勤務形態・残業時間の不満がある」という理由で転職を検討した割合は50%以下

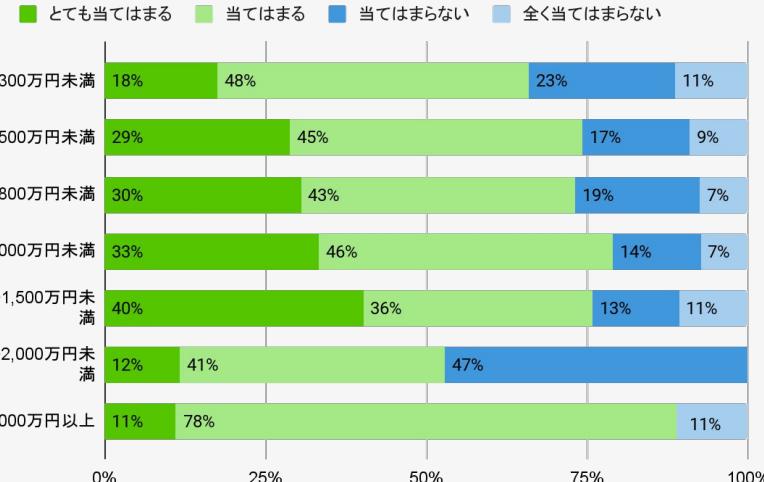
※N=1133。学生・無職を除く。「今までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」「はい」と回答した人のみ。



## 転職活動をした / しようとした時の状況（2）年収別

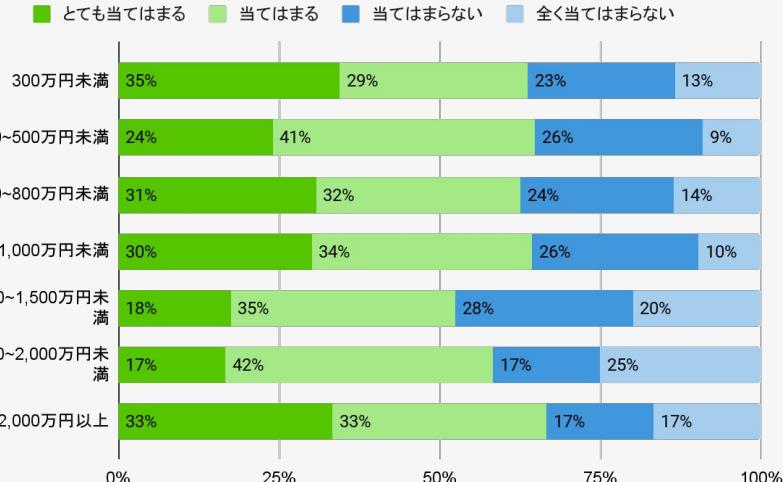
□ 現在の年収に関わらず「今より魅力的な仕事を見つけた」の割合は50%以上

### 今より魅力的な仕事を見つけた



□ 現在の年収が1,000-2,000万円未満では、転職を検討するきっかけに人間関係への不満がなかった割合が40%以上

### 上司や同僚など人間関係への不満がある

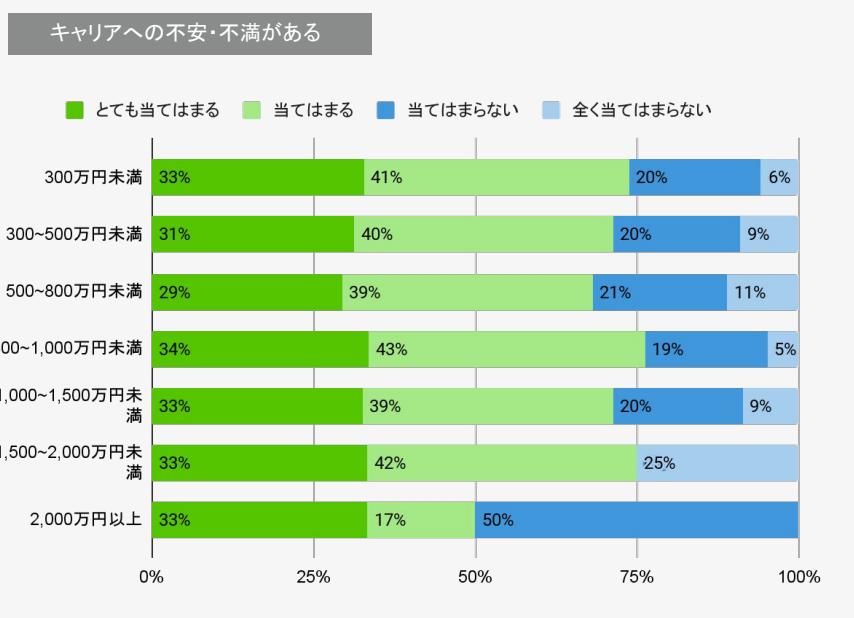


※N=1006。学生・無職を除く。「今までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」で「はい」と回答したのみ。

※N=1006。学生・無職を除く、就業中の学生含む。「今までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」で「はい」と回答したのみ。

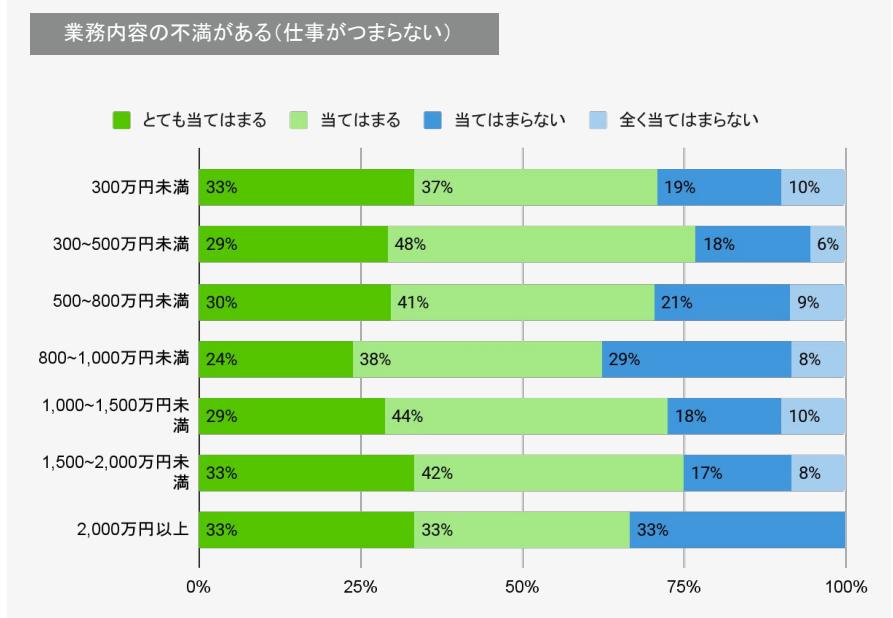
## 転職活動をした / しようとした時の状況 (3)年収別

- キャリアへの不安・不満をきっかけに転職を検討した割合は、現在の年収が2,000万円未満ではおよそ70%



※N=1006。学生・無職を除く。「現在までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」で「はい」と回答した人のみ。

- 業務内容に不満を感じている割合は、現在の年収が300-500万円未満で75%を超えている



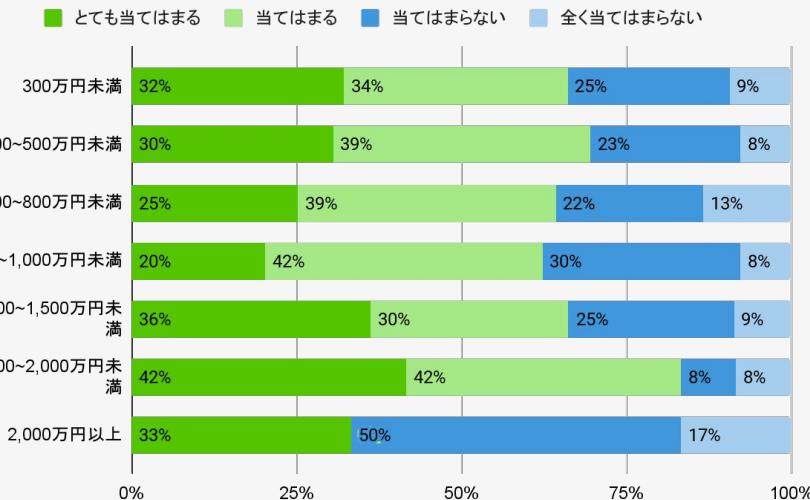
※N=1006。学生・無職を除く。「現在までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」で「はい」と回答した人のみ。

## 転職活動をした / しようとした時の状況 (4)年収別

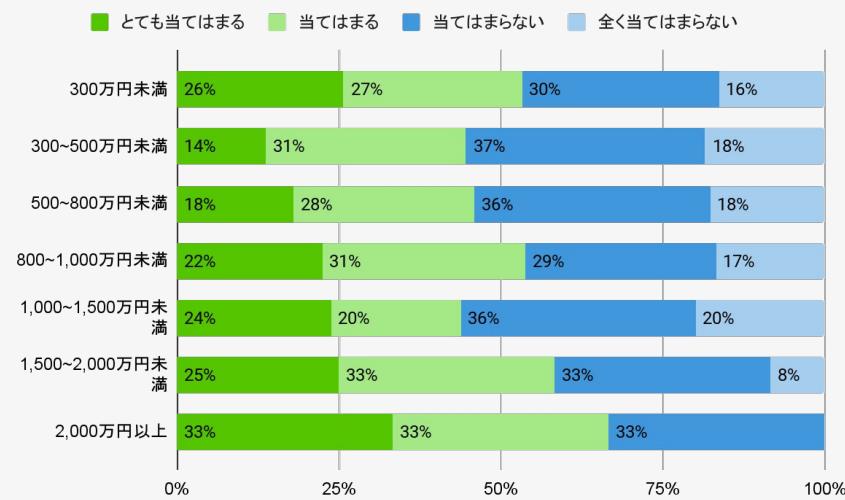
- 現在の年収が2,000万円未満では、年収に関わらず60%以上が会社の成長性や将来性に不満を感じている

- 勤務形態・残業時間への不満は現在の年収が300万円未満と800-1,000万円未満、1,500万円以上で50%を超えている
- 現在の年収が300-800万円未満では50%より少ない

会社の成長性や将来性への不満がある



勤務形態・残業時間の不満がある



※N=1006。学生・無職を除く、就業中の学生含む。「今までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」「はい」と回答した人のみ。

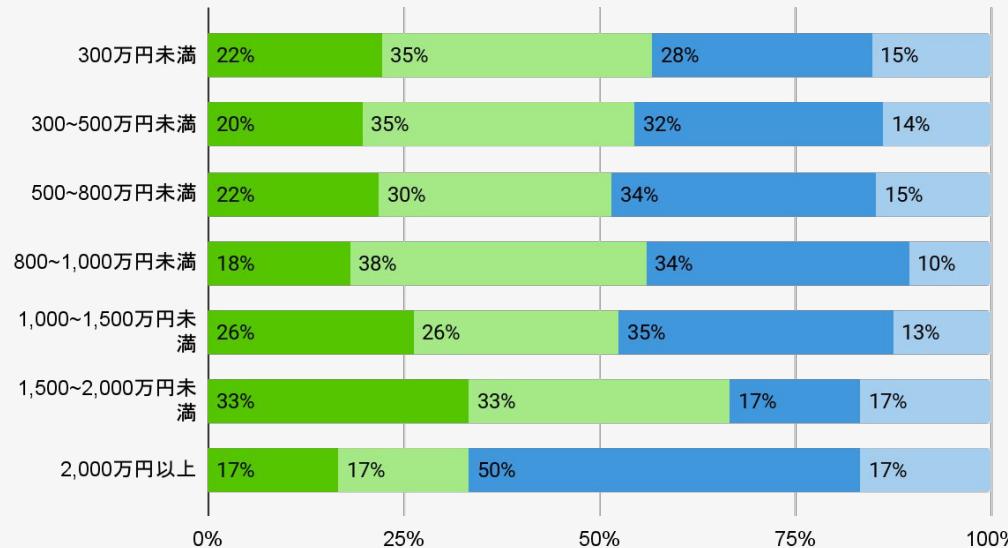
※N=1006。学生・無職を除く。「今までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」「はい」と回答した人のみ。

## 転職活動をした / しようとした時の状況（5）年収別

- 現在の年収が2,000万円未満では、評価に不満があると感じている割合は年収に関わらず50%より大きい

評価に不満がある

■ とても当てはまる ■ 当てはまる ■ 当てはまらない ■ 全く当てはまらない

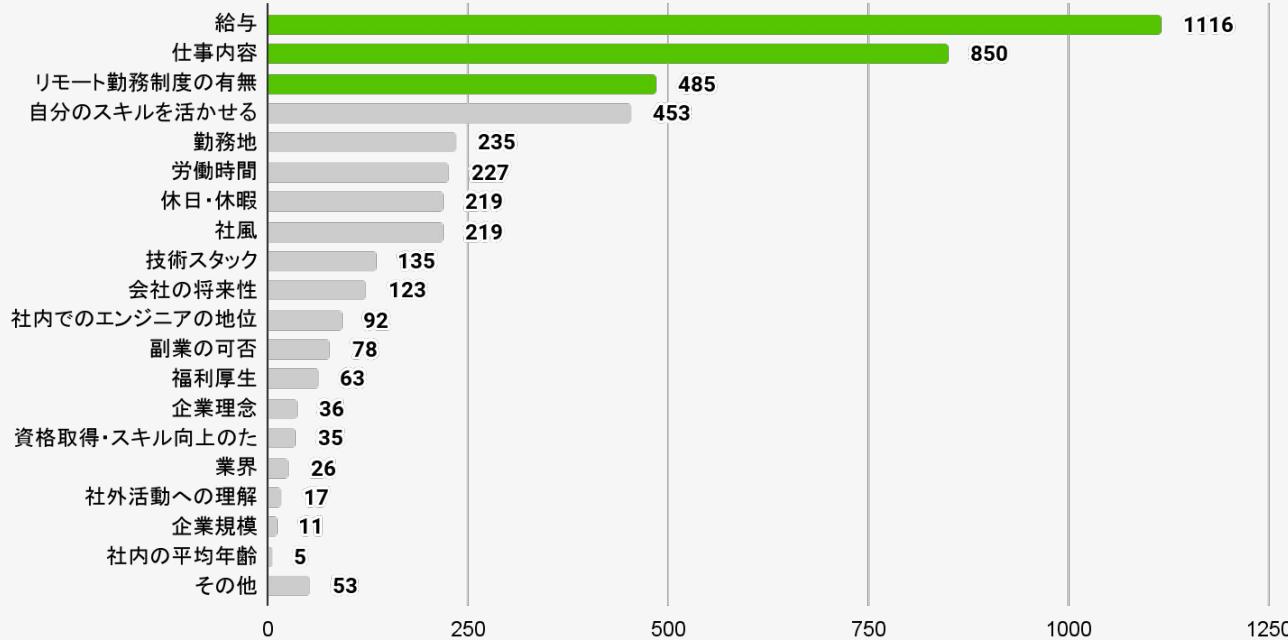


※N=1006。  
学生・無職を除く。  
「今までに転職を経験もしくは  
検討されたことがありますか」で  
「はい」と回答したのみ。

# 転職検討時に重要視する項目

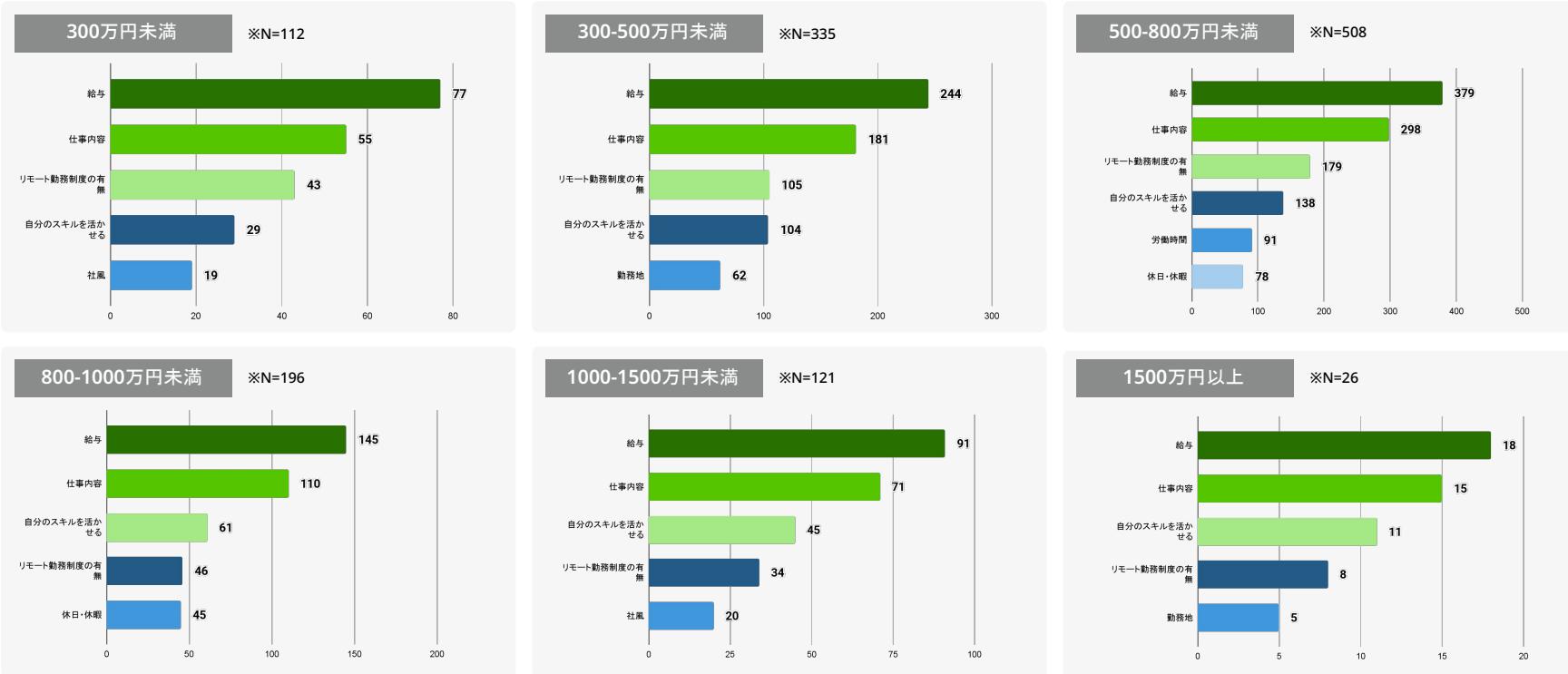
- 「給与」「仕事内容」が上位2位にランクイン
- 「リモート勤務制度の有無」も2023年に引き続き3位にランクイン

※N=1493。学生・無職を除く。「今までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」で「はい」と回答したのみ。



# 転職検討時に重要視する項目(年収別)

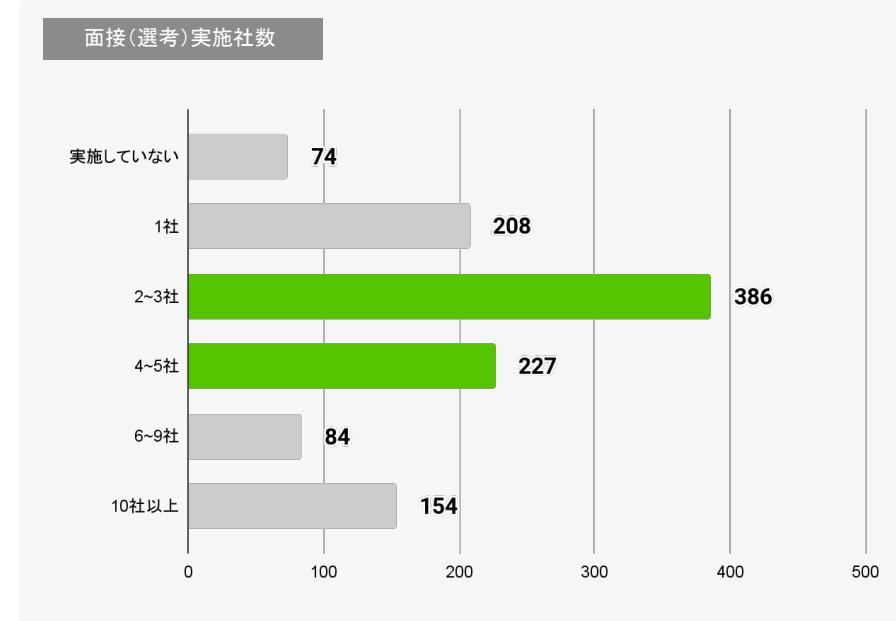
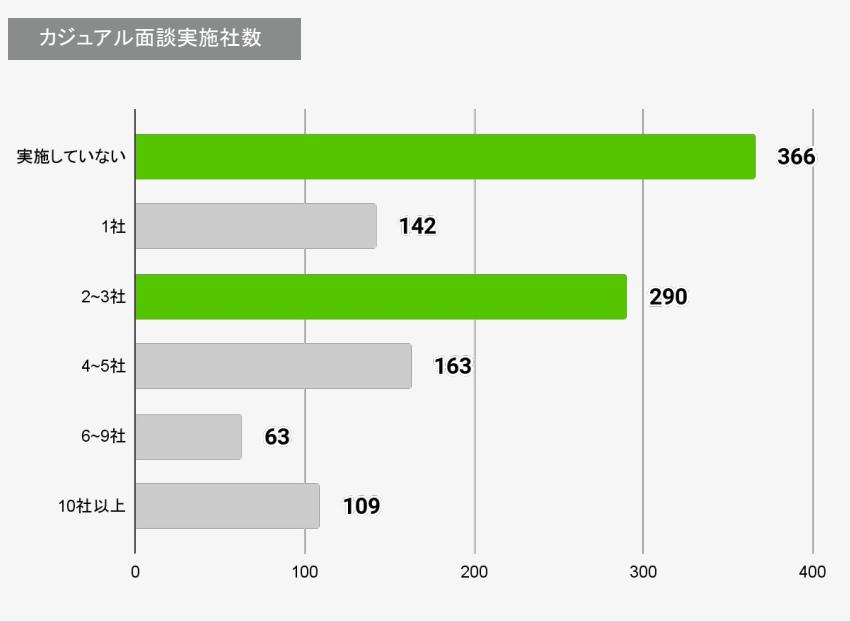
- 現在の年収に関わらず、「給与」「仕事内容」が上位2位にランクイン



# 転職時のカジュアル面談 / 面接(選考)実施社数

- 「カジュアル面談を実施していない」は366人(32%)と最多多い
- 次いで「2~3社」は290人(26%)

- 面接(選考)実施社数は2~3社が最も多く386人(34%)、次いで4~5社で227人(20%)



※N=1133。学生・無職を除く。「現在までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」で「はい」と回答した人のみ。

※N=1133。学生・無職を除く。「現在までに転職を経験もしくは検討されたことがありますか」で「はい」と回答した人のみ。

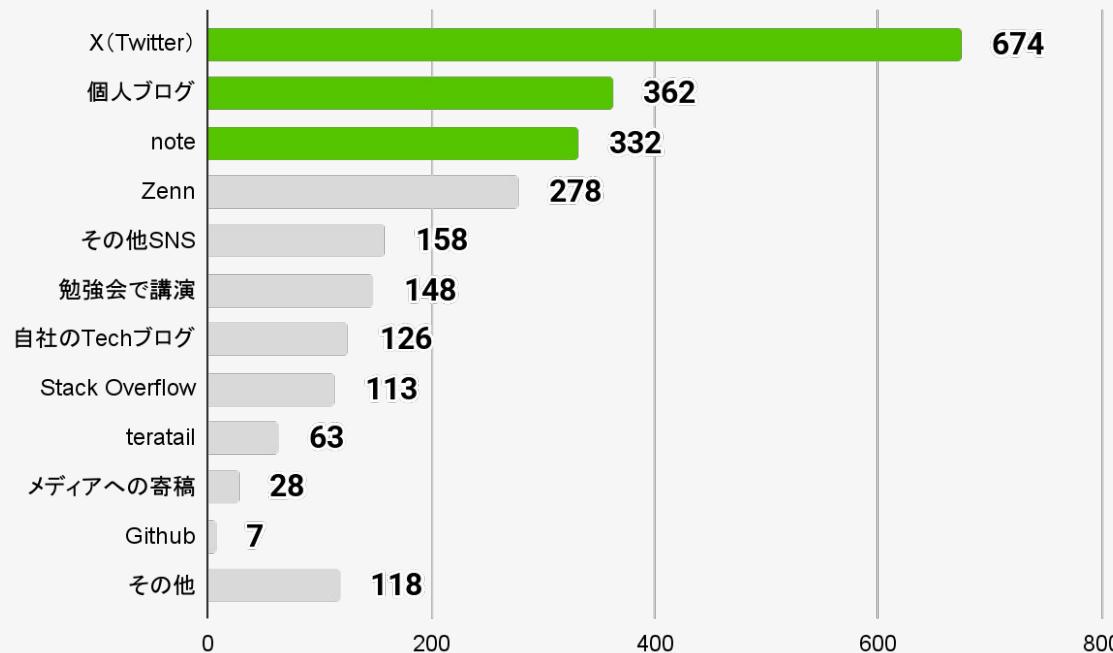
# 個人・企業の情報発信



# 開発について Qiita 以外でアウトプットを行っているサービス

□ 昨年と変わらず上位から順にX(Twitter)、個人ブログ、noteの順番

※N=1998。  
学生・無職を除く、就業中の学生含む。複数回答



# アウトプットを行っているサービスの用途



Qiitaには技術的な内容、noteには技術的な内容以外のエンジニアとしての思考や取り組みに関する話題、X(Twitter)にはイベントでの感想や所感、意見発信、ブログ投稿告知などをアウトプットしている



Qiitaには多くのエンジニアに知ってほしい使えそうな情報を、X(Twitter)には新しい技術や情報を共有しながら、かみくだいた分析、noteではマネタイズなどの方向の技術をアウトプットしている

QiitaとZennには同じものを、X(Twitter)にはtipsを投稿している



X(Twitter)では、拡散してバズったら良いなと思って投稿している



noteには思想に近い話、Qiitaには技術に近い話、個人ブログには体系的な知識をアウトプットしている



Qiitaは備忘録や知見共有のため、X(Twitter)は面白い記事のURL共有、Zennは本を書くために使っている



Qiitaにはシリーズ化している記事やネタ記事などを投稿していて、Zennには単発の短い記事を投稿している

## 技術ブログやSNS等で、技術に関する情報発信を積極的に行っていると思う企業

- 1位にクラスメソッド、2位にゆめみがランクイン
- 次いで、3位にメルカリ、4位にサイバーエージェント、5位にMicrosoftがランクイン

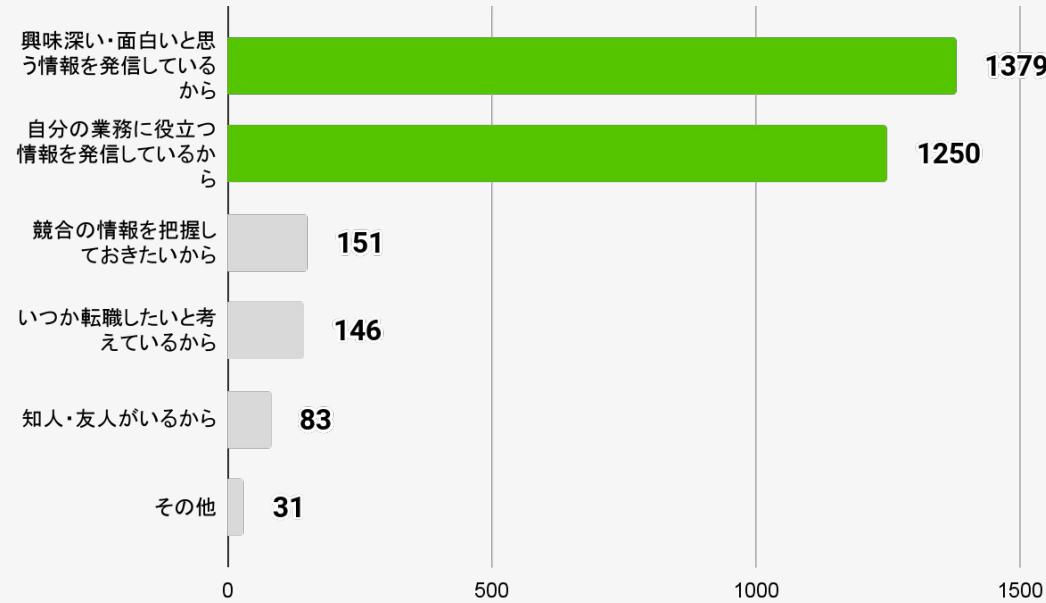
順位	企業名	順位	企業名
1	クラスメソッド株式会社	6	Qiita株式会社
2	株式会社ゆめみ	7	株式会社ZOZO
3	株式会社メルカリ	7	サイボウズ株式会社
4	株式会社サイバーエージェント	7	LINEヤフー株式会社
5	Microsoft	8	AWS

※N=739。学生・無職を除く。



## 企業の技術ブログや SNSをフォローしたり 定期的にチェックしたりしている理由

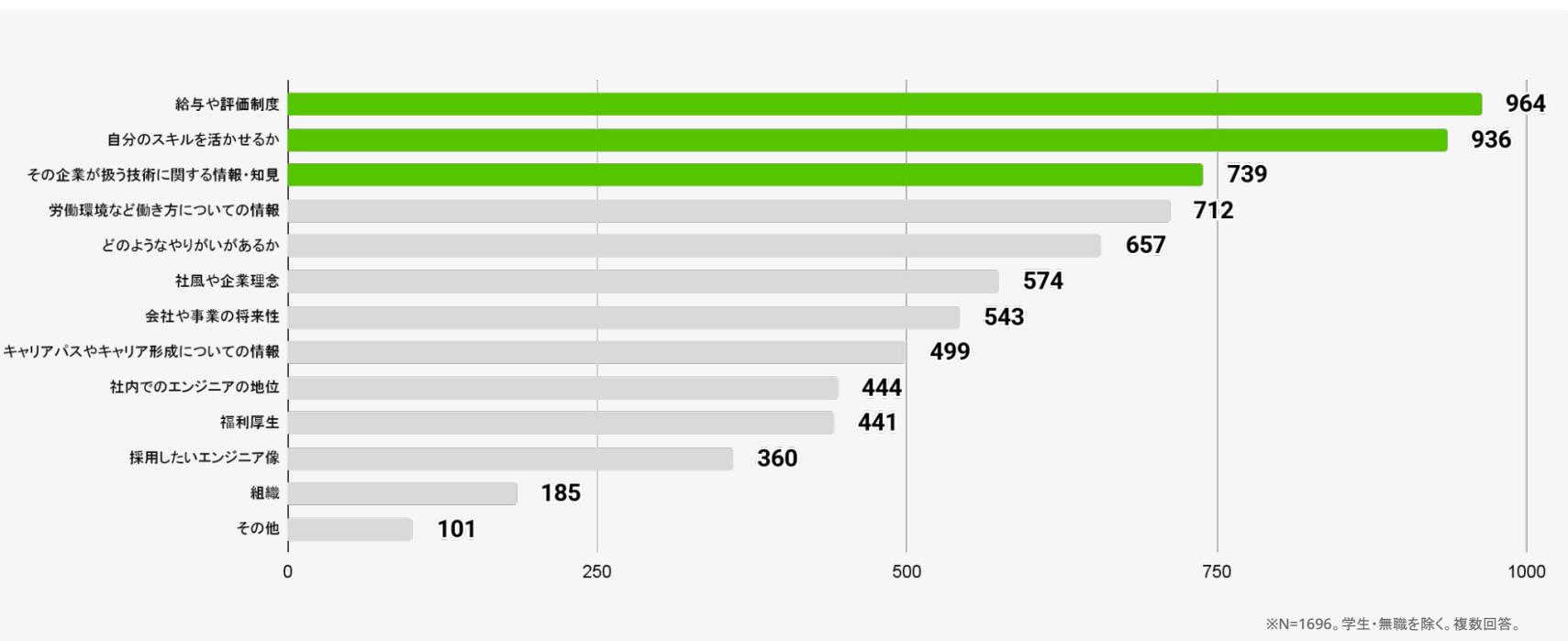
- 興味や面白さを感じて企業の企業の技術ブログやSNSをチェックするという回答が最も多い



※N=1754。  
学生・無職を除く、就業中の学生含む。

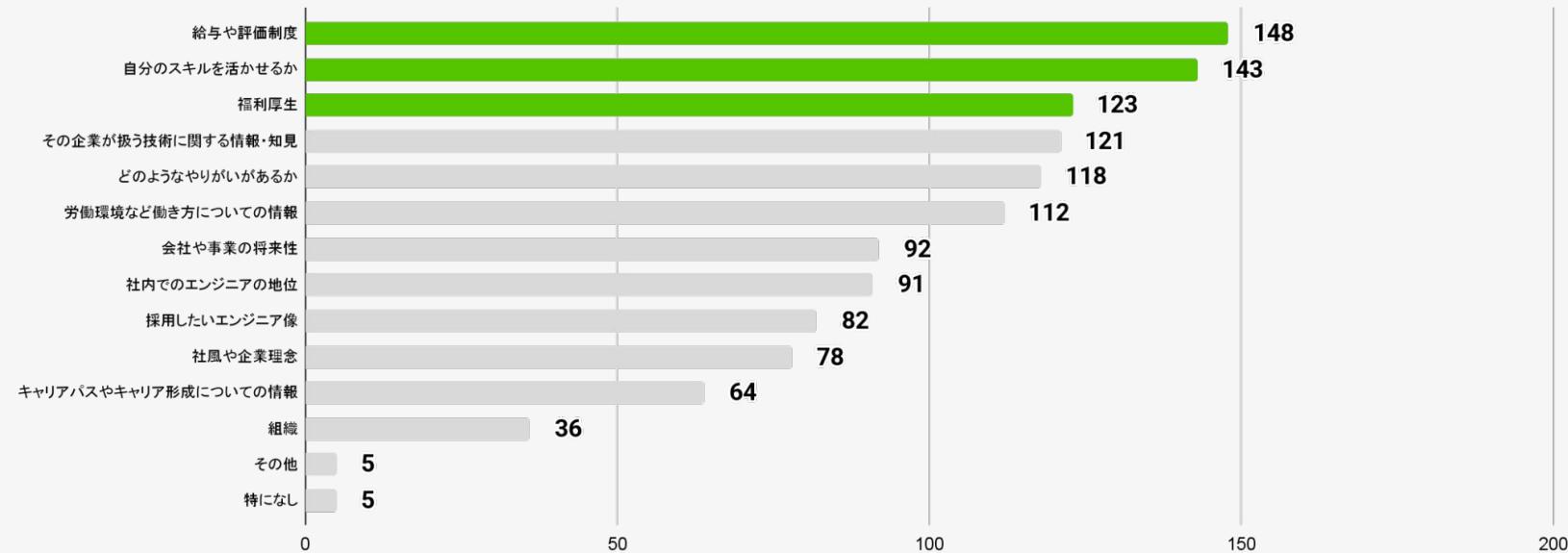
# エンジニアが働く企業について知りたいこと

- 「給与や評価制度を知りたい」という回答が最も多く964人(57%)が回答
- 次いで、「自分のスキルを生かせるか」936人(55%)、「企業が扱う技術について知りたい」739人(44%)



# エンジニアが働く企業について知りたいこと(学生)

- 「給与や評価制度について知りたい」という回答が最も多く148人(58%)が回答
- 次いで、「自分のスキルを生かせるか」143回答(56%)、「福利厚生」123回答(48%)という回答が多い



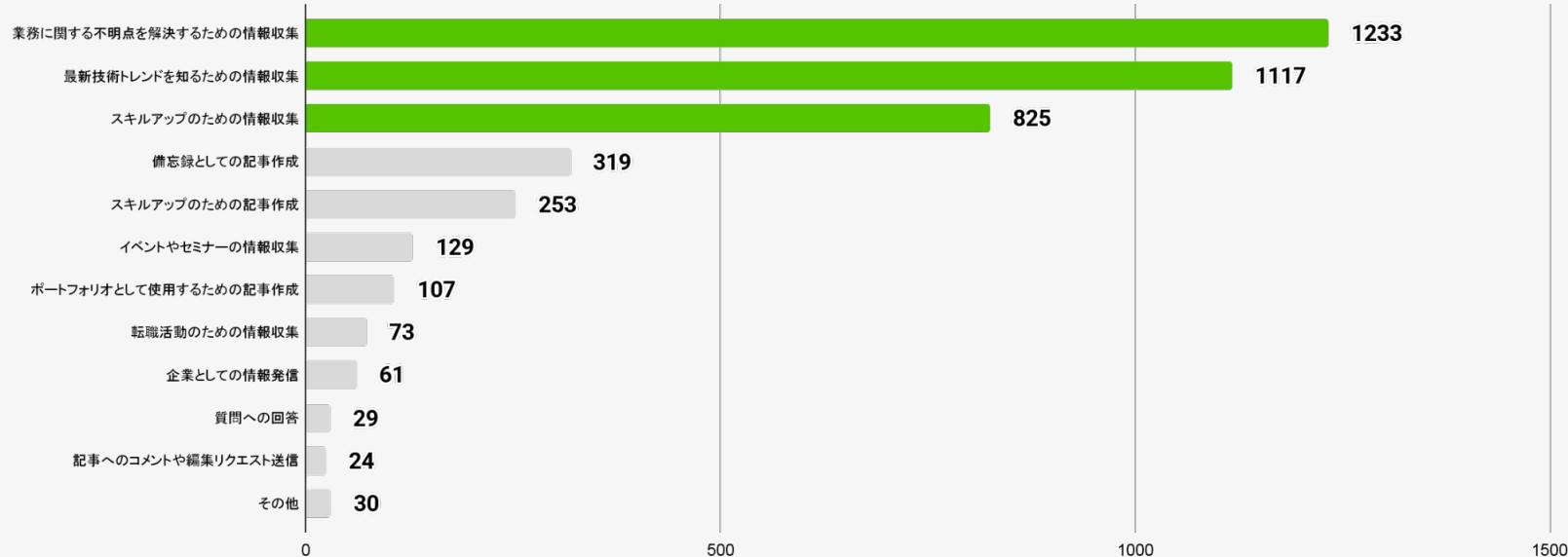
※N=255。学生。複数回答

# Qiita利用状況



# Qiita の利用目的

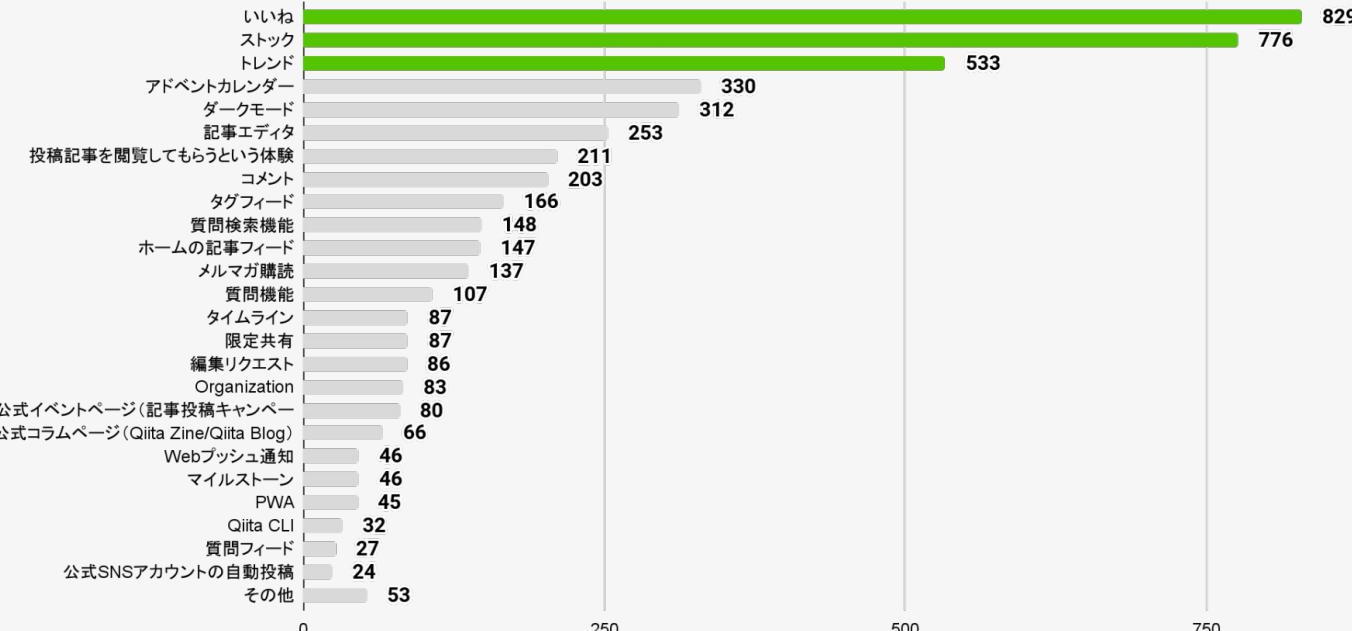
- 「業務に関する不明点を解決するため」という回答が1233人(61%)と最も多い
- 次いで、「最新技術やトレンドを知るため」1117回答(55%)、「スキルアップのための情報収集」825回答(41%)



※N=2017。複数回答。

# Qiita で気に入っている機能

- いいね 829人(41%)、ストック 776人(38%)、トレンド 533人(26%)の順に多い
- アドベントカレンダー 330人(16%)も4位にランクイン



※N=2017。複数回答。

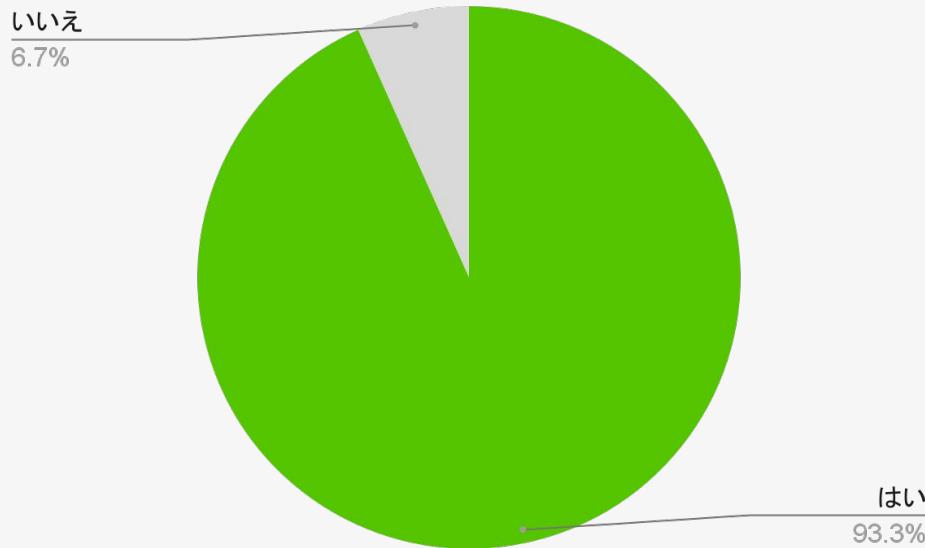
# スキルアップのための自主学習



## スキルアップ

- 業務時間外や授業以外に勉強する割合は93%

仕事・業務時間外や授業以外で自主的に勉強をすることありますか？

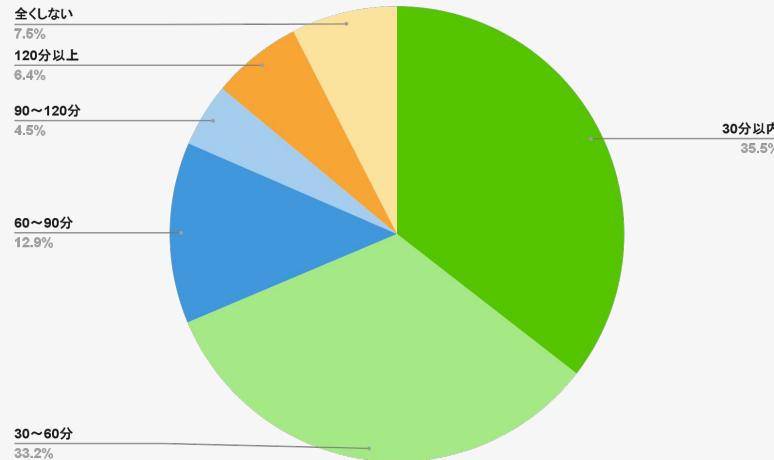


※N=2017。複数回答。

# 勉強時間

□ 仕事・学校がある日は、30分以上勉強する割合が57%

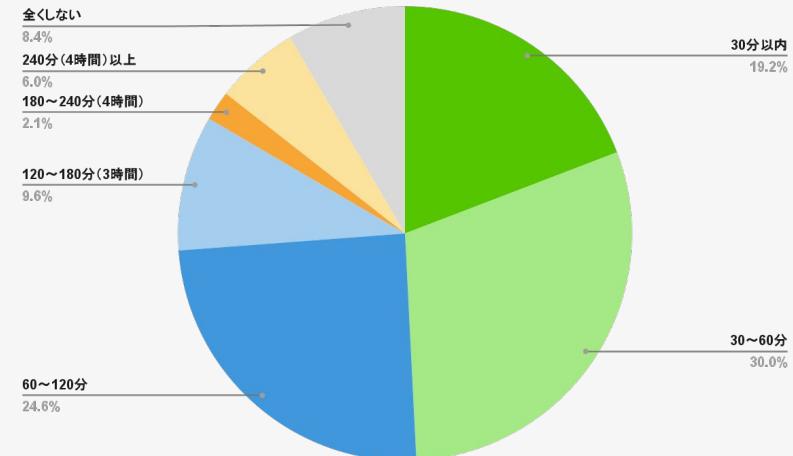
仕事・学校がある日は、1日平均何時間ほど勉強していますか？



※N=1882

□ 休日は、30分以上勉強する割合が72%

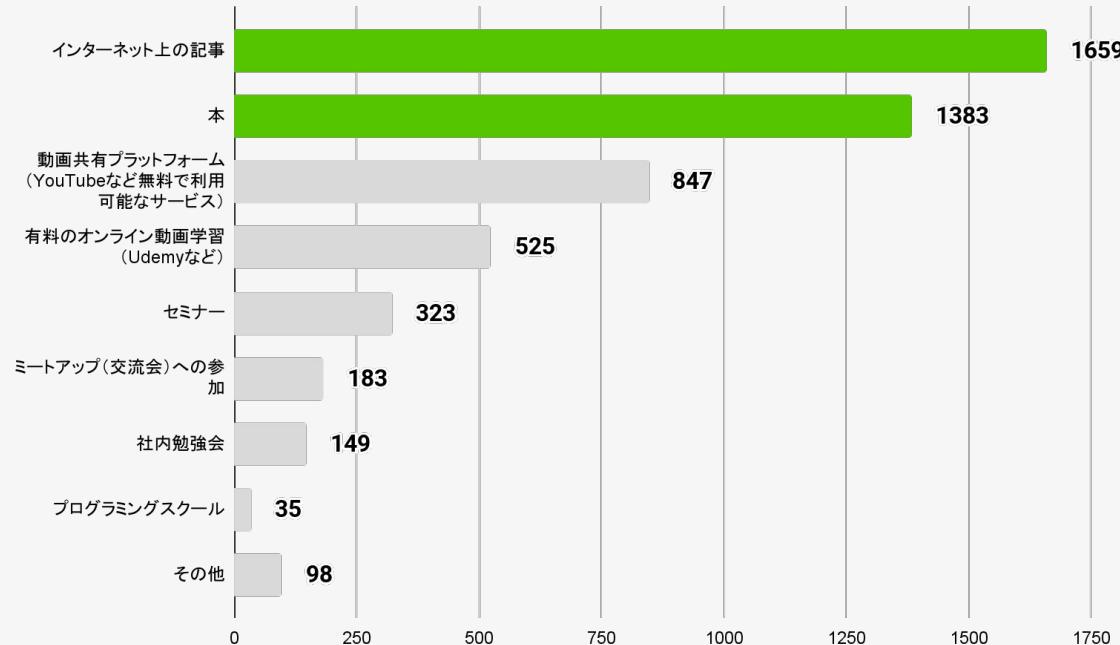
休日は、1日平均何時間ほど勉強していますか？



※N=1882

# 勉強方法

- 勉強の割合で一番多いのは「インターネット上の記事」で 1659人(88%)、次いで「本」の1383人(73%)
- 複数名と勉強する方法(セミナー、ミートアップ(交流会)への参加、社内勉強会など)は合計で690人(37%)



※N=1882。複数回答。

# お問い合わせ

ご質問などございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

事業開発部プランニンググループコンテンツチーム

<https://support.qiita.com/hc/ja/requests/new>

**Qiita** presents

# エンジニア白書 2024

制作・編集:Qiita 丹羽真穂

編集責任:Qiita 戸田行洋

表紙・デザイン監修:Qiita 加藤璃子